

福岡市科学館

年 報

-2019年度(平成31年度・令和元年度)版-



目次

はじめに.....	2	② 企画展示.....	15
1. 館概要.....	3	(3) ドームシアター(プラネタリウム)事業.....	21
(1) 設置目的.....	3	① 投映の実施状況.....	21
(2) 沿革.....	3	(4) 学習支援事業.....	24
(3) 事業コンセプト.....	4	① 演示.....	24
(4) 運営基本方針.....	4	② 体験学習.....	26
(5) 福岡市科学館の約束.....	5	③ 学校連携.....	36
(6) ロゴマーク.....	5	④ アウトリーチ活動.....	39
(7) 施設概要.....	6	⑤ サイエンスナビ活動.....	40
① 平面図.....	6	(5) 交流事業.....	41
② 諸室面積.....	7	① 地域交流.....	41
③ 建物の概要.....	7	② リポート利用に向けた取り組み.....	42
④ 工事関係者.....	7	③ 広報・情報発信の状況.....	42
(8) 管理運営.....	8	④ 交流室の利用に関する取り組み.....	43
① 組織体制.....	8	(6) 育ち支援、ネットワーク形成事業.....	44
② 各種会議体.....	9	① 子ども参画.....	44
2. 2019年度事業報告.....	10	② 運営サポーター(ボランティア).....	46
(1) 利用状況.....	10	③ 連携事業.....	48
① 月別利用状況.....	10	(7) 調査研究事業.....	49
② 団体利用状況.....	10	(8) 施設貸出事業.....	49
③ 利用者の年齢層・居住地・来館回数・満足度.....	11	(9) スーパーサイエンスジュニア事業.....	49
④ 事業別アンケート実施状況.....	12	(10) その他の実績.....	50
(2) 展示事業(基本展示、企画展示).....	13	① 活動の実績.....	50
① 基本展示.....	13	② 職員の実績.....	50

はじめに

「福岡市科学館年報 2019 年度版」をお届けします。この年報は 2019 年度の福岡市科学館の様々な活動を包括的に記載したものです。ご覧いただくとわかるように、2019 年度には 4 つの特別展を始め、多様な事業を展開し、また多彩なプログラムを新規開発してきました。おかげさまで評判もよく、開館から間もない 2018 年度よりも多く利用していただいた月もあるくらいです。本年報を多くの方々にご覧いただき、本科学館の現状についてご理解を賜りますとともに、率直なご意見をお寄せいただければ幸いです。

本年報の目次を見ていただいて、何かお気づきのことがあるでしょうか。「学習支援」と「育ち支援」というあまり見慣れない用語が使われています。2018 年度までの「教育普及」と「人材育成」から変わったものです。これこそが、福岡市科学館の理念「人が育ち、未来をデザインしていく科学館」のひとつの発現です。本科学館では『「人が育つ」活動・事業のすべてで市民を主体・主語に』の取り組みを行っています。市民が育つには、市民が主体・主語となる取り組みでなければならないからです。そのようななかで、実際には科学館を主語とする用語が多数使われてきており、その変更・改善が必要であるということになりました。例えば、「教育普及」、「人材育成」は明らかに科学館が主語なので、これらを使用せず、市民が主体で、科学館が支援者であることを明確にした「学習支援」、「育ち支援」を使うことにしたわけです。実は、「アウトリーチ」、「出前事業」も科学館が主語の用語なので言い換えが望ましいのですが、代替案が難しいので、用語はそのままに内容のみの改善としています。これらの用語の普通のイメージは科学館側が外に出て行ってパフォーマンスをするものと捉えがちです。しかし、市民が主体・主語と考えると、市民が主体となったパフォーマンスも選択肢としてあり得ることが自然に出てきます。昨年度の笹丘小学校の出前授業(p.37)はそのような問題意識に基づいて行われたものです。このようなところにも本科学館の進化が見て取れます。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により、本科学館も対応を迫られています。臨時閉館や再開館後の様々な COVID-19 予防対策がそのひとつです。しかし私たちは科学館なので、これだけを対応と考えるのは誤っています。なぜなら、COVID-19 は人類にとってたいへん大きな科学的・社会的問題を提起しており、それを科学館として正面から受け止め、何らかの科学館活動に結実させていくことも対応であると考えているからです。このように二正面から COVID-19 問題を捉えていきたいと思っています。

福岡市科学館は開館から日が浅く、まだまだ未熟な点が多々あると自覚しています。これらを克服し、常に進化し続ける科学館に仕上げていくためには、市民の皆様の知恵と感性がぜひとも必要です。新しい科学館を市民の皆様とともに創り上げるため、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

2020 年 6 月

福岡市科学館
館長 伊藤 久徳

1. 館概要

(1) 設置目的

子どもたちを始め市民が科学を体験し、楽しむことを通じて、自由かつ自発的に学習することを支援するとともに、福岡の人及び資源と連携し、福岡の将来を担う人材を育成することにより、市民の文化教養の向上に寄与することを目的として設置された。

(2) 沿革

2016年(平成28年)3月25日	福岡市科学館特定事業に関する事業契約の締結
2016年(平成28年)4月1日	設計業務及び開業準備業務のスタート 初代館長に伊藤久徳就任、プロジェクトアドバイザーに高安礼士就任
2016年(平成28年)6月20日	福岡市科学館ホームページ開設
2016年(平成28年)7月1日	科学技術振興機構「科学技術コミュニケーション推進事業ネットワーク形成型」受託
2016年(平成28年)8月1日	九州大学と組織対応型連携契約を締結
2016年(平成28年)10月1日	着工
2017年(平成29年)1月	福岡市科学館ロゴデザイン決定
2017年(平成29年)4月1日	エルガーラホールにて、開館半年前記念イベント開催
2017年(平成29年)8月31日	竣工
2017年(平成29年)9月30日	開館記念式典挙行
2017年(平成29年)10月1日	福岡市科学館オープン 名誉館長に若田光一就任
2018年(平成30年)2月11日	利用者50万人達成
2018年(平成30年)2月15～16日	全国科学博物館協議会(全科協)総会及び研究発表大会等開催
2018年(平成30年)3月24～28日	世界天文コミュニケーション会議2018 in 福岡(CAP2018)開催
2018年(平成30年)6月10日	利用者100万人達成
2018年(平成30年)9月29日	利用者150万人達成
2018年(平成30年)10月	開館1周年記念事業開催
2019年(令和元年)5月26日	利用者200万人達成
2019年(令和元年)6月3～5日	日本プラネタリウム協議会 全国プラネタリウム大会2019・福岡 開催
2019年(令和元年)10月	開館2周年記念事業開催
2019年(令和元年)10月14日	利用者250万人達成

(3) 事業コンセプト

「サイエンス&クリエイティブ FUKUOKA」

科学と感性の交流拠点として

福岡から未来を創造していく科学館

福岡市の持つポテンシャルを最大限にいかし、科学と感性を融合させた新しい活動展開を行うとともに、科学館を拠点とした福岡における新たな交流と人材育成^{*}を図り、福岡の人々とともに未来の福岡を共に創造していく「未来創造型のミュージアム」をめざします。

※ここは変更できないところなので、「人材育成」の用語をそのまま残しています。

(4) 運営基本方針

人が育ち、未来をデザインしていく科学館

福岡市科学館は地域とともに人の成長を支えることを第一に考えます。

人は生まれたときから能動的な学習者であり、周りの人々を含む環境と相互作用しながら育ちます。科学館は、その育つ環境を科学の面からつくるものであり、成長を支えるものと考えています。

ひとりの人が育つには、自らが好奇心を抱き、疑問を持ち、考えを進め、創造性を磨くことが必須です。そしてそのような経験を経た人は豊かな社会性をも身につけられるはずで

す。そのような子どもたちを中心とする人の成長を支援するという意味を込めて、「人が育つ」科学館を目指します。

福岡市科学館は「人が育つ」しくみを様々に工夫していきます。

そのためには、何よりも展示やプログラムが子どもたちを始めとしてすべての人に楽しいものでなくてはなりません。

常に「科学の見せ方・示し方」を工夫・更新し、心に響く驚きと喜びを生み出します。

そしてそれを疑問・探求・創造へとつなげていきます。また人と人の交流と協働を大切にします。

人は、人との交流によって新たな世界が広がり、人との協働によって未来を描くことができるからです。

同時に私たちは、「人が育つ」ことを社会的な広がりの中かで捉えています。

すなわち、「人が育つ」社会・地域づくりをも担うということです。

そのためには、他の文化施設・研究機関等さまざまな機関と連携し、家庭・学校・地域の団体等と協働する必要があります。

そしてその延長として、子どもたちの可能性ある未来と「科学は文化」と認知される社会を展望しています。これらのことを「未来をデザインする」という言葉で表現しています。

(5) 福岡市科学館の約束

福岡市科学館は次のことをお約束します。

ほぼすべての項目で人が主語になり、またそのために福岡市科学館は何をなすべきかを明記しています。

1. 科学を担う人やクリエイターなどと市民とが交流することによって、新しいサイエンスコミュニケーションのあり方を提案していきます。
2. 幼児から高齢者までに対応する展示とプログラムを充実することによって、すべての人が科学を楽しみ、創造するよるこびがある科学館をつくります。
3. 子どもたちの好奇心・疑問・考える力・創造性が育つ機会を提供することによって、一人ひとりの科学する力が伸びることに寄り添います。
4. 多様な市民、科学者、教員、保護者などと科学の協働プログラムを開発することによって、子どもたちが社会のなかで成長できる環境づくりに貢献します。
5. 福岡の人、モノ、コトなど、様々な資源を活用することによって、市民が科学的な視野で地域とその未来をデザインし、発信する活動を支援します。
6. 利用者との対話・交流を進めることによって、施設や事業の改善に努め、日々進化する科学館を目指します。

(6) ロゴマーク

Original Viewpoint / 独自の着眼点

すべての発見のスタートラインは、疑問を持つこと。身のまわりのあらゆることに、独自の感性でレンズを向け、ミクロあるいはマクロの世界を見つめることで生まれる気づきの連続。それは、発見と新たな疑問、そして限りない可能性を与えてくれる。

レンズを通して見えるものは、すべてが科学の世界。何にレンズをかざしてどこに着眼するか、その独自性を尊重して、だれもが疑問を自ら解き明かし、発見する驚きと喜びを体験する場。福岡市科学館は、「サイエンス&クリエイティブ」で新たなステージへ。

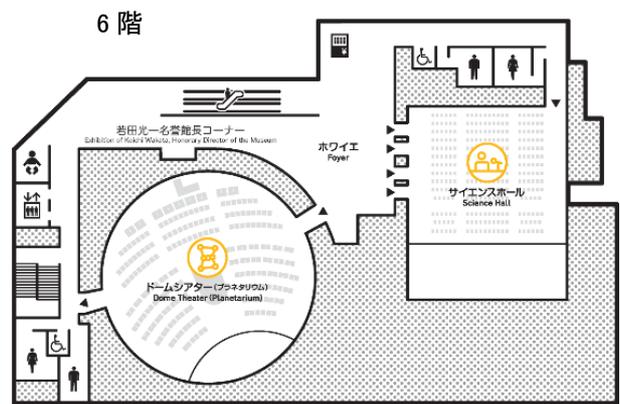
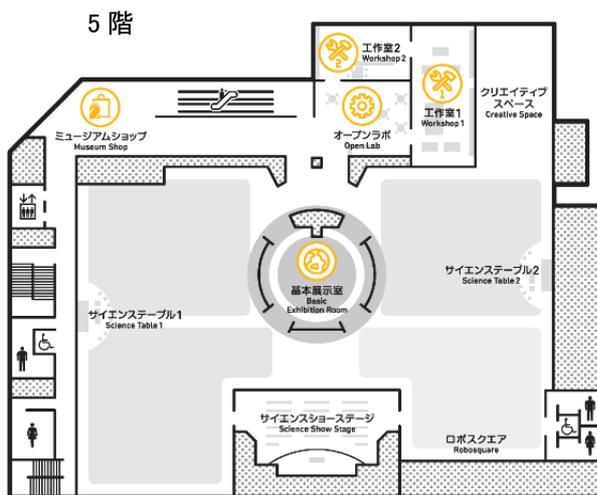
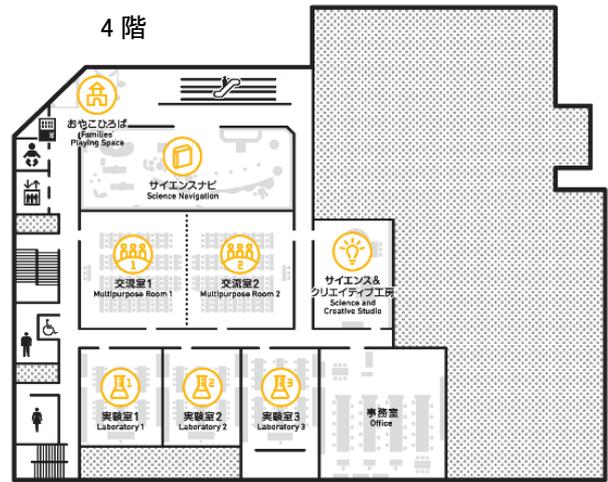
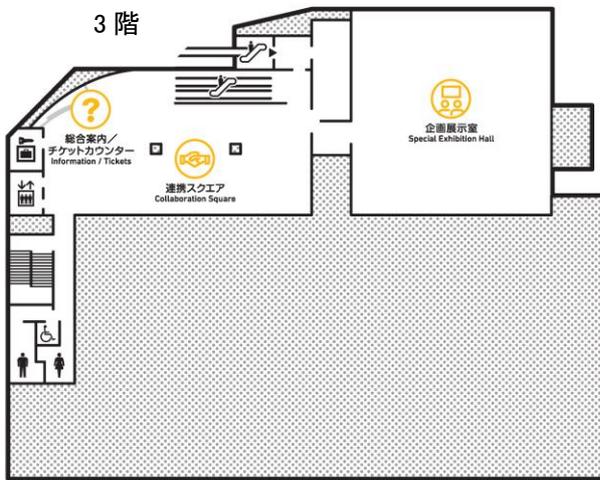
科学に不可欠な「着眼点」を表現したロゴマーク。フォーカスすることで、気づきや発見をもたらすレンズであり、空から眺めた福岡市科学館のシルエットでもある。ただし、着眼点次第で見え方は無限。あなたは何に見えるだろうか。



(7) 施設概要

福岡市科学館は、複合商業施設「六本松421」内の3階～6階に設置。

① 平面図



② 諸室面積

階	名 称	面積(m ²)	席数
6	サイエンスホール	426.51	300
	ドームシアター	463.53	220
	ホワイエ	442.87	—
5	基本展示室	1,895.24	—
	工作室1	120.49	—
	工作室2	72.11	—
	オープンラボ	86.92	—
	ミュージアムショップ	62.50	—
4	サイエンスナビ(※1)	237.32	—
	交流室1	163.11	100
	交流室2	165.08	100
	サイエンス&クリエイティブ工房	111.81	—
	実験室 1	104.40	48
	実験室 2	100.60	48
	実験室 3	133.79	48
3	ウェルカムホール	52.76	—
	エントランスホール	62.68	—
	連携スクエア(※2)	281.40	—
	企画展示室	510.12	—

※1 科学に関する興味や疑問等について、更に多彩な情報を探索できる無料エリア

※2 企業展示ブース

延床面積合計(バックヤード含む) 10,150 m²

③ 建物の概要

建物名称	六本松 421
所在地	福岡県福岡市中央区六本松 4-2-1
用途	複合型商業施設
敷地面積	約 9,946 m ²
総延床面積	約 37,000 m ²

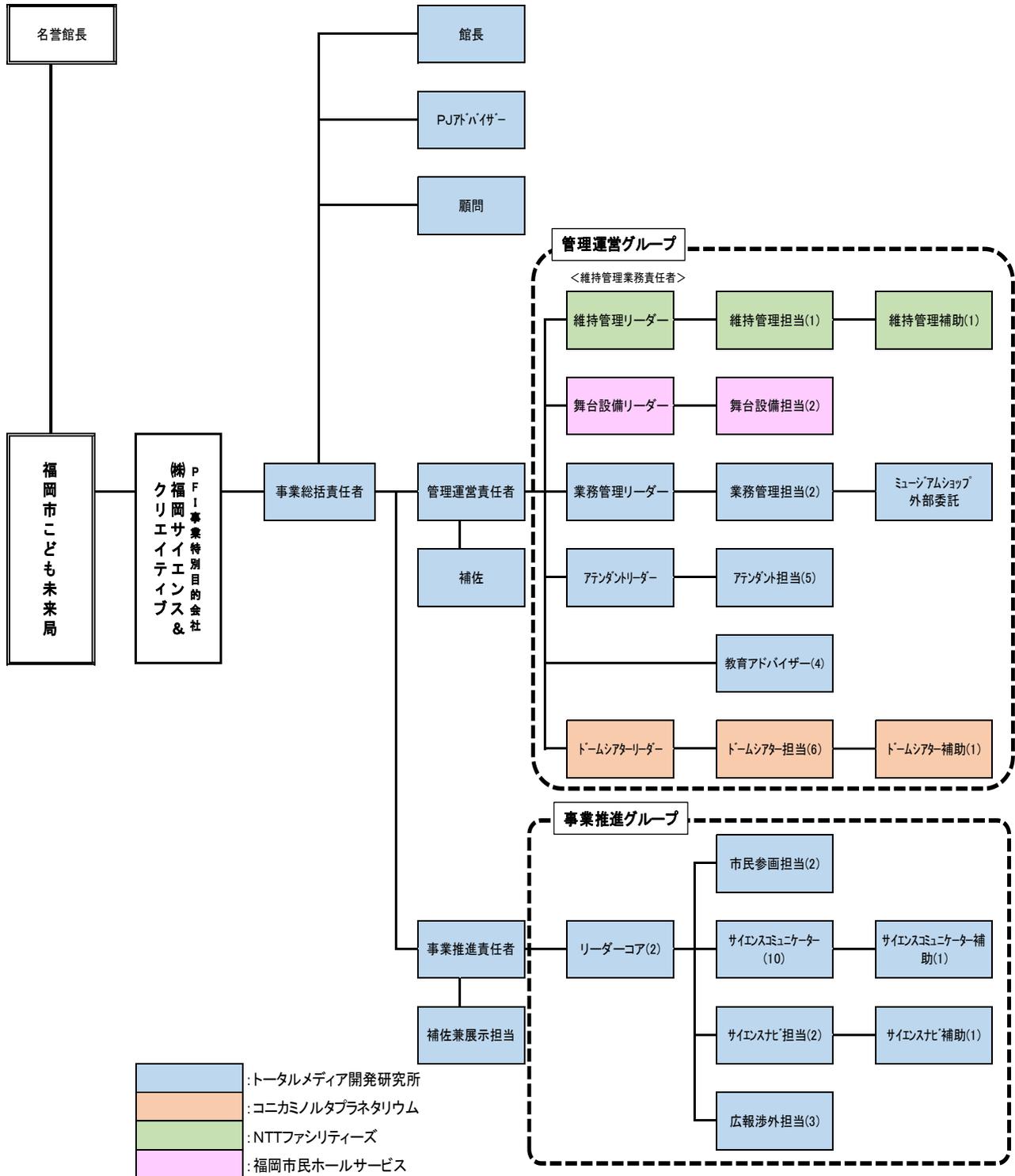
④ 工事関係者

設計	施工
建設、設備	内装、建築
株式会社 NTT ファシリティーズ	日建建設株式会社
株式会社匠建築研究所設計共同事業体	電気設備
株式会社トータルメディア開発研究所	株式会社島田電気商会
展示	機械設備
株式会社トータルメディア開発研究所	山本設備工業株式会社
ドームシアター	コニカミノルタプラネタリウム株式会社
	什器、備品
	宮川建設株式会社
	展示工事
	株式会社トータルメディア開発研究所
	ドームシアター工事
	コニカミノルタプラネタリウム株式会社

(8) 管理運営

① 組織体制

(2020年3月時点)



② 各種会議体

分類	会議名称	開催頻度	目的・内容等
福岡市	指定管理者 評価委員会	1回／年	福岡市が設置する第三者による事業評価委員会。事業者が行う自己評価結果を報告し、客観的な評価と総合して目標達成指標に対する定量的な評価と、事業プログラムの定性的な価値評価を提示し、評価結果を積極的に公開していくことで、事業者による運営状況の透明性の確保と利用者への説明責任の対応を図る。
事業者	運営連絡協議会	1回／月	科学館の運営・維持管理業務について、直近の実績と今後の計画について福岡市に報告・調整を行うほか、関連する情報の共有や協力体制の検討を行う。
	コアメンバー会議	1回／月	館を運営する事業者の幹部で構成され、館のミッションと事業内容との調整を図る。
	サイエンス コミュニケーション 開発会議	2回／年	館長を含む有識者で構成され、今後の館運営の方向性の検討を行う。
	外部評価委員会	1回／年	事業者が設置する外部有識者による事業評価委員会。前年度の事業報告に対する評価・提言等を行う。

● サイエンスコミュニケーション開発会議 分科会

サイエンスコミュニケーション開発会議で提示されたテーマに基づき、研究者やクリエイターと館スタッフで組織され、課題等を検討する。2019年度は、以下の4つの分科会を開催。

- ・新しい科学の動向と情報を収集・発信する分科会
- ・市民が科学館事業にどのように参画するかを検討する分科会
- ・展示更新を計画する分科会
- ・サイエンスショー、テーブルサイエンスを検討する分科会

2. 2019年度事業報告

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、下記期間を臨時休館とした。

2019年2月27日(木)～2019年3月20日(金)

(1) 利用状況

① 月別利用状況

(単位:人)

項目	2019年度													年度計	構成比
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
開館日数(日)	27	27	26	28	30	26	26	26	24	26	22	10	298		
利用者数	62,781	66,894	53,387	106,028	186,939	100,541	85,402	60,984	70,113	87,922	69,645	6,110	956,746	100%	
1日平均	2,325	2,478	2,053	3,787	6,231	3,867	3,285	2,346	2,921	3,382	3,166	611	3,211	—	
ドームシアター	11,857	13,946	13,174	19,466	29,670	18,510	14,904	15,031	14,751	15,644	12,535	1,174	180,662	19%	
基本展示室	26,553	25,526	22,376	38,452	67,004	28,255	25,277	20,854	24,817	26,077	17,409	2,437	325,037	34%	
企画展示室	8,294	9,406	122	17,030	39,618	33,448	28,091	8,487	14,223	27,377	25,016	536	211,648	22%	
サイエンスナビ	13,161	12,980	12,613	23,861	41,490	16,007	11,948	11,091	11,864	14,015	11,297	1,662	181,989	19%	
その他(※1)	2,916	5,036	5,102	7,219	9,157	4,321	5,182	5,521	4,458	4,809	3,388	301	57,410	6%	

※1:各種体験学習プログラムの実参加人数と貸室利用人数を集計

② 団体利用状況

(単位:団体)

項目	2019年度													年度計	構成比
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
開館日数(日)	27	27	26	28	30	26	26	26	24	26	22	10	298		
団体に館数	6	44	58	70	45	53	81	88	44	47	50	0	586	100%	
1日学習(※2)	0	9	12	9	1	15	17	21	18	17	15	0	134	23%	
学校等団体	4	25	27	30	4	22	50	39	17	24	27	0	269	46%	
一般団体	2	10	19	31	40	16	14	28	9	6	8	0	183	31%	

※2:福岡市立小学校の4年生向け学習プログラム(大規模校を分割し、127校134団体実施)

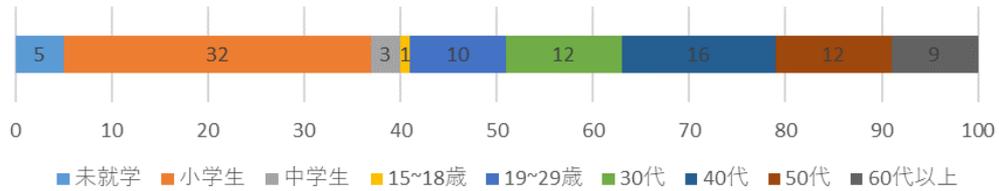
③ 利用者の年齢層・居住地・来館回数・満足度

福岡市科学館 2019 年度利用者アンケートからデータを抜粋。

● 来館者年齢層 (n=2995)

設問「あなた自身についてお聞かせください: 年齢」

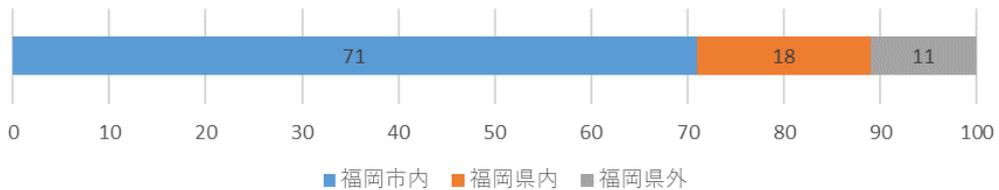
小学生が最も多く 32% を占め、反対に 15~18 歳が 1% と最も少ない。



● 居住地 (n=2917)

設問「あなた自身についてお聞かせください: お住まい」

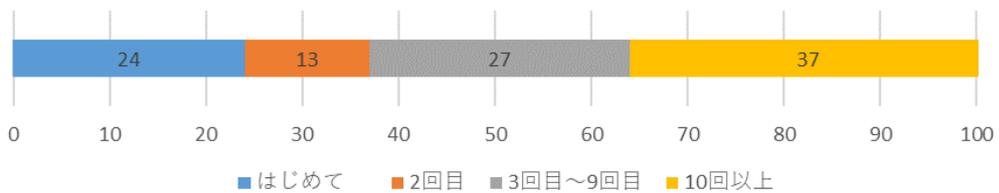
福岡市内の居住者率が 71% と、近隣在住者の比率が高い。



● 来館回数 (n=864)

設問「当館に来られたのは何回目ですか」

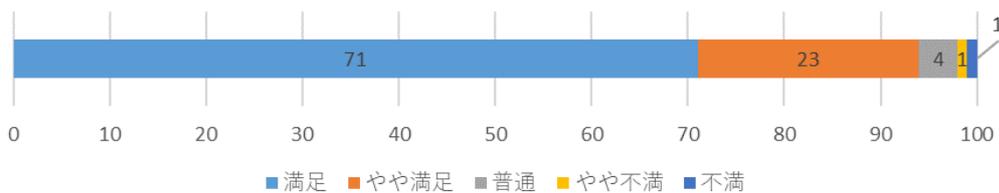
「10 回以上」の利用者が最も多く 37% を占める。



● 満足度 (n=3170)

設問「当館を体験してみていかがでしたか」

全体的に満足比率は高く、「満足」と「やや満足」で 94% を占める。



④ 事業別アンケート実施状況

大分類	小分類	活動名	実施時期	回収数	備考
展示事業	基本展示室	—	随時	566	
ドームシアター事業	スペシャルイベント	星語り ニッポンの星座たち ～春～	4月13日	43	
		荒木健太郎スペシャルトーク～雲を愛する技術～	4月20日	47	
		ブラネタリウムコンサート～星空とバイオリン弾きの物語～	5月5日	42	
		星語り ～幸せの星を目指して～	5月18日	39	
		星兄の爆笑ブラネタリウムショー	6月1日	58	
		KAGAYA スペシャルトークショー ～世界に星空と夢を求めて～	6月22日	93	
		星語り 夏 セタスペシャル！“令和”-万葉の星めぐり-	7月7日	108	
		LIVE in the DARK tour w/moumoon 福岡公演	7月27日	70	
		高井研スペシャルトーク ～「いのちの始まり」に迫る極限環境生命研究～	8月3日	56	
		アポロ11号月面着陸50周年記念特別企画 ispaceスペシャルトーク「月に跳ぶ人類の挑戦」	8月17日	194	
		天文講演会～宇宙には、だれか いますか？～	9月1日	129	
		ブラネタリウムライブ～COSMIC DANCE～	9月21日	13	
		手嶌葵スペシャルライブ ～瞬く星々の下で、幻想的な歌声に包まれる～	10月13日	177	
		星語り 秋の夜長の星空散歩	10月26日	68	
		特別上映会 QUEEN -HEAVEN-	11月9日	106	
		熟睡ブラネタリウム	11月23日	156	
		星降る南阿蘇 ～天文台LIVE中継～	12月8日	83	
		TEAM SURPRISE クリスマス ゴスペル コンサート	12月21日	31	
		星語り 新春スペシャル 冬の星空散歩 & 天文トピック2020	1月4日	53	
		星兄の爆笑ブラネタリウムショー	1月25日	48	
	スペシャルトーク アラスカの夜空とオーロラを満喫しよう！	2月8日	101		
	LIVE in the DARK w/堂珍嘉邦 in 福岡市科学館ドームシアター	2月14日	71		
	LIVE in the DARK w/Salyu in 福岡市科学館ドームシアター	2月24日	77		
ブラネタリウムライブ ～COSMIC DANCE～	3月14日	-	延期(臨時休館)		
その他イベント	ごろ寝たリウム ～想いをかなえるブラネタリウム特別体験～	3月18日	-	中止(臨時休館)	
番組	番組アンケート	5月～2月	429	3月分は感染症の影響で中止	
教育普及事業	科学実験	浮チアナゴをつくろう	8月8～26・31日、9月1日、11月16・17日	581	
	セミナー・講座	最後のマンモスはオーロラを見たか～絶滅の謎～	1月6日	74	
	サイエンスカフェ	マンモスがいた時代の気候	12月6日	12	
		温泉科学の専門医ってなに？～お風呂を科学しよう～	12月8日	29	
		生きもの・私・自然(生命誌の世界観)	12月16日	42	
	フィールドワーク	なるにはカフェ「恐竜と仕事をするには？」	1月12日	46	
		サイエンススポットまち歩き	4月13・14日、7月27日、11月9・10日	30	
		はじめてのフィールドワーク 親子ではっぱ探検隊！	5月15日、8月7日、10月11日、12月18日、1月29日	18	
		コウモリを観察しよう	6月5日、7月3日、9月4・20日、10月12日	32	
		大濠公園で野鳥を観察しよう	12月1日、1月11日、2月22日	34	
	クラブ活動	～生活を守り、命を守る～ 私たちの暮らしを支える「セメント工場」を見てみよう！	-	-	中止(臨時休館)
		無線	-	-	感染症の影響
		工作	-	-	感染症の影響
		ネイチャー	-	-	感染症の影響
		ロボット	10月13日	16	
		実験研究	-	-	感染症の影響
		プログラミング	9月29日	19	
デジタル工作		9月23日	5		
みんなで作るみんなの科学館		9月27日	7		
大人のサイエンス・クリエイティブクラブ	-	-	感染症の影響		
1日学習	1日学習利用アンケート	随時	111	引率教諭が回答	
その他団体	団体来館アンケート	随時	56		
小計				3,970	

(2) 展示事業(基本展示、企画展示)

① 基本展示

1) 展示テーマ

5階基本展示室において、「宇宙」「環境」「生活」「生命」と、未来について考える「フューチャー」からなる参加体験型の展示を通じて、来館者が科学とその見方を楽しく学ぶことができる。

展示テーマ	展示内容
宇宙	宇宙の広がりや様々な方面からアプローチした地球の姿などを体験しながら学ぶ。
環境	地球の環境や生態系、エネルギーの使われ方などを知り、環境の大切さを学ぶ。
生活	交通システムや地震対策、新しいテクノロジーなど、暮らしを支える技術を学ぶ。
生命	体のしくみ、生物の進化などの生命の不思議や最新の医療技術について学ぶ。
フューチャー	サイエンスとクリエイティブの両方の視点から科学技術の今を学ぶ。また、科学の力で新しい星をつくりだすなど、自分たちの未来を考える。



宇宙



環境



生活



生命



フューチャー

2) 展示更新

更新箇所	更新内容	公開日	備考(敬称略)
クリエイティブ スペース	「スポーツ」をテーマにアワードを開催し、応募のあった8組の優れたアイデアを融合させたスポーツ科学を楽しく体験できる展示	10月14日	コンテスト参加者 ・沼田勝浩(FKR 株式会社) ・宮崎国夫(株式会社ビジブル) ・福岡リゾート&スポーツ専門学校スポーツ保育科3年C組 ・佐藤菖也 田村あやの 山代竜也(モンブラン・ピクチャーズ株式会社) ・渡辺航平(九州産業大学芸術学部) ・平田武志 加藤剛 ・高山裕明 高山春花 ・浜武加奈子
サイエンス& クリエイティブラボ	2020年度に帰還予定のはやぶさ2が持ってくる試料サンプルの分析から、解き明かされる地球の水と生命のもとの謎に迫る展示	3月29日	監修:野口高明(九州大学 基幹教育院教授 理学博士)



② 企画展示

1) 特別展

〈1〉特別展「ARトリックアート展」

[1] 開催趣旨 本企画は錯覚・錯視を利用したトリックアート作品を紹介する企画展で、さまざまな「脳の錯覚」を体感してもらう機会とする。一般的なトリックアート展での写真を撮って楽しむだけではなく、「なぜそのように見えるのか？」の原理を紹介し、テーブルサイエンスや科学実験などを通じて、視覚情報と脳の不思議な関係についても興味を持ってもらう。



[2] 開催期間 2019年4月20日(土)～5月12日(日)

開催日数 21日

[3] 入場者数 16,142人

[4] 会場 3階 企画展示室

[5] 主催 福岡市科学館、RKB毎日放送

[6] 入場料 一般(中学生以上) 800(700)円、4歳以上小学生 500(400)円
 カッコ内は前売

[7] 展示内容 すべて手書きのトリックアート作品を展示。VR連動できる作品も複数展示。

[8] 関連イベント

内容	実施日	会場
サイエンスカフェ「脳をだまして錯覚を楽しもう！トリックアートと錯視のはなし」	4月25日	4階 サイエンスナビ
テーブルサイエンス「だまし絵のふしぎ」	3月24日～5月13日 日の土日	5階 工作室
科学実験プログラム「見えるのはなぜ？」	4月2～6日	6階サイエンスホール、 4階実験室
ものづくりプログラム「〇〇をつかまえよう」	4月14日、5月12日	4階 サイエンスナビ

〈2〉特別展「ぶっとんでるいきもの展」

[1] 開催趣旨 私たち人間が思っている「フツウ」とは違った、ある意味「ぶっとんでる」生きものたちにスポットを当て、彼らの変わった姿かたちや生き方などを紹介する。様々な環境に順応しながら進化してきた個性的な生きものたちとの出会いによって、見た人すべての知的好奇心を刺激する。



[2] 開催期間 2019年7月13日(土)～2019年8月25日(日)

(※ただし7月16日(火)は閉館)

開催日数 43 日

- [3] 入場者数 54,801 人
- [4] 会場 3 階 企画展示室
- [5] 主催 福岡市科学館、FBS 福岡放送、読売新聞社
- [6] 企画協力 広島テレビ、株式会社エラスモブランチ
- [7] 入場料 一般(大学生以上) 800(700)円 中高生 600(500)円
4 才から小学生 300(200)円
※カッコ内は前売、および有料入場者 30 人以上の団体料金
- [8] 展示内容 ハナカマキリ・カエルアノコウなど擬態する昆虫・魚類、ヤドクガエル・ハコフグ有毒の危険な両生類・魚類、世界三大奇蟲や形が変わったいきもの、コキンチョウ・ナマケモノなど生態がユニークな鳥類・哺乳類などの生体展示のほか、オカヤドカリやジャイアントミルワームのタッチプール、オカヤドカリとの記念撮影コーナー 等
- [9] 関連イベント

内容	実施日	会場
テーブルサイエンス 「いきものに学ぼう！バイオメティクス」	7 月 1 日(土) ~ 8 月 31 日(土)	5 階基本展示室
科学実験プログラム 「海のいきものを探そう」	7 月 6 日(土)・7 日(日)・13 日(土)・14 日(日)・15 日(月)・20 日(土)~31 日(水)	4 階実験室
科学実験プログラム 「浮チアナゴをつくろう」	8 月 8 日(水)~9 月 1 日(日) ※8 月 27 日(火)~8 月 30 日(金)を除く	4 階実験室
スペシャル企画 「生命誌展示～生きものの長い物語と私たち～」	7 月 22 日(月)~24 日(水)	6 階 サイエンスホール
子ども新聞をつくろう	8 月 2 日(金) ①11:00~ ②14:00~	4 階実験室・3 階企画展示室
ドームシアター(プラネタリウム)イベント STARRY NIGHT JAM vol.43 高井 研氏 スペシャルトーク ～「いのちの始まり」に迫る極限環境生命研究～	8 月 3 日(土)	6 階 ドームシアター
ぶっ飛んでるいきもの展 科学館スタッフによるミニトーク	8 月 5 日(月)、21 日(水)	3 階企画展示室
サイエンスカフェ 「ぶっつんでるにはワケがある！～海の生き物たちについて知ろう～」	8 月 24 日(土)	4 階 サイエンスナビ
福岡市科学館「ぶっつんでるいきもの展」×福岡市動物園 缶バッジプレゼントキャンペーン	7 月 23 日(火)~28 日(日)	3 階企画展示室

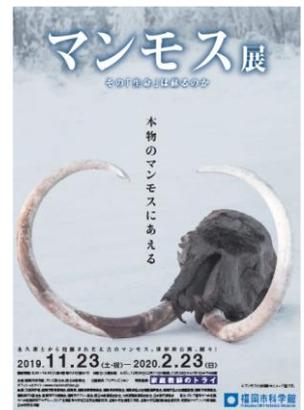
〈3〉特別展「MINIATURE LIFE 展」—田中達也 見立ての世界—

- [1] 開催趣旨 視点を変えることで発見できる見立ての面白さを体感する。アイスが地球に、クロワッサンが雲に、コッペパンが新幹線に！ジオラマ用の人形と日用品をモチーフに見立て、思わず「くすっ」と笑ってしまう世界を作り出す ミニチュア写真家・見立て作家 田中達也の世界を紹介。
- [2] 開催期間 2019年8月31日(土)～10月14日(月祝)
開催日数 39日
- [3] 入場者数 59,644人
- [4] 会場 3階 企画展示室
- [5] 主催 福岡市科学館、RKB 毎日放送
- [6] 協力 株式会社 SHARE BASE
- [7] 企画協力 株式会社 MINIATURE LIFE
- [8] 企画・制作 NHK サービスセンター、株式会社 CoCo
- [9] 入場料 一般(大学生以上) 1000(800)円、中高生 700(600)円、小学生 500(400)円 ※税込金額、カッコ内は前売
- [10] 展示内容 代表作から新作まで、約100点の写真と、実物のミニチュア約30点を紹介する。



〈4〉特別展「マンモス展 その「生命」は蘇るのか」

- [1] 開催趣旨 日本科学未来館にて、開催していた「マンモス展」の福岡巡回展。展示の中でも今回世界初公開される冷凍標本『ケナガマンモスの鼻』は、2013年に完全な形で発掘され、これまで考えられていたマンモスの鼻の形状を覆す発見となった貴重な個体標本である。そして昨年夏、本展のために発掘現場を訪れた調査隊が発見した、『ケナガマンモスの皮膚』(マンモスの後脚部分)の冷凍標本も世界初公開。非常に生々しい状態で発掘されたこの皮膚には、マンモスがなぜ極寒の地で生き延びられたのかを解き明かす鍵が隠されている。このほか、血液や尿が採取されたとニュースになった仔ウマの「フジ」も公開！本展示のために新たに史上最大級の冷凍展示室を制作し、来場者に貴重な冷凍標本の生々しい様子をご覧いただく。
- [2] 開催期間 2019年11月23日(土)～2020年2月24日(月振休)
開催日数 78日
- [3] 入場者数 71,319人
- [4] 会場 3階 企画展示室
- [5] 主催 福岡市科学館、TNC テレビ西日本、西日本新聞社



- [6] 協力 ロシア連邦サハ共和国、サハ共和国科学アカデミー、
ロシア北東連邦大学北方応用生態研究所、近畿大学生物理工学部、
近畿大学先端技術総合研究所、野尻湖ナウマンゾウ博物館

[7] 企画協力 日本科学未来館

[8] 企画・制作 フジテレビジョン

[9] 特別協力 家庭教師のトライ

[10] 入場料 一般 1,200 円(1,000 円)、高校生大学生 1000 円(800 円)、
中学生以下 4 歳以上 500 円(300 円)

※()は前売料金及び 30 名以上の団体料金

[11] 展示内容 2005 年に開催された「愛・地球博」(185 日間)で展示され、約 700 万人(総来場者 2,200 万人)が目撃した『ユカギルマンモス』(頭部冷凍標本)をはじめ、「ケナガマンモスの鼻」や「仔ウマ」などの冷凍標本や、マンモスの骨格標本を展示

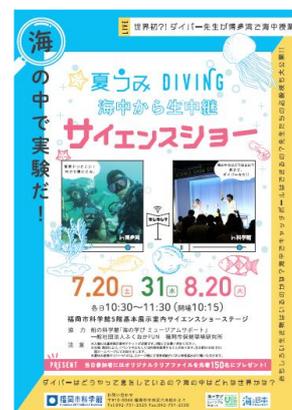
[12] 関連イベント

内容	実施日	会場
講演会「マンモスのふるさと、ロシア連邦サハ共和国に行ってきました！」	1 月 18 日	6 階 サイエンスホール

2) 企画展

〈1〉企画展「夏うみ DIVING(ダイビング)」

- [1] 開催趣旨 福岡の海(博多湾)の現状を知り、自然環境における海の役割や人の暮らしとの関わりについて学ぶことで、自分たちの生活環境について見直したり、自然の変化に関心を持ったりする心を育む。
- [2] 開催期間 2019 年 7 月 1 日(月)～9 月 16 日(月・祝)
開催日数 72 日
- [3] 入場者数 119,820 人
- [4] 会場 5 階 基本展示室内フクオカフィールド
- [5] 主催 福岡市科学館
- [6] 共催 なし
- [7] 入場料 無料(ただし基本展示室チケットが必要)
- [8] 展示内容 博多湾紹介パネル、博多湾いきもの動画、質問コーナー等
- [9] 関連イベント



内容	実施日	会場
海中から生中継サイエンスショー 協力:一般社団法人ふくおか FUN	7 月 20・31 日、 8 月 20 日	5 階 サイエンスショーステージ

〈2〉企画展「いたるところでマンモス展」



- [1] 開催趣旨 企画展示室で開催される特別展 マンモス展 その「生命」は蘇るのか にあわせて、子どもから大人まで楽しく学べる約 30 の様々なプログラムで構成される企画展。各プログラムに参加することで、マンモスや当時の環境について、幅広いテーマで学ぶきっかけを提供する。
- [2] 開催期間 2019 年 11 月 23 日(土)~2020 年 2 月 24 日(月振休)
(休館日:毎週火曜日および年末年始(12 月 28 日~1 月 1 日)、
ただし 12 月 24 日と 2 月 11 日は開館、2 月 12 日は閉館)
開催日数 78 日
- [3] 入場者数 ー
- [4] 会場 4 階サイエンスナビ、5 階オープンラボ・基本展示室など、館内各所
- [5] 主催 福岡市科学館
- [6] 入場料 プログラムによって異なる
- [7] 展示内容 オリジナル絵本「マンモスのしっぽ」をテーマにしたインタラクティブ展示、マンモスとアフリカゾウの大きさを比較する段ボールの立体展示、プログラム参加者が作成した作品展示など。

[8] 関連プログラム一覧

■ 期間中を通して開催するプログラム(10 月~1 月)

内容	実施日	会場
プロジェクトM	10 月~2 月	4 階サイエンスナビ
マンモスの大きさを体験しよう 協力:九州産業大学造形短期大学	11 月 23 日~2 月 23 日	5 階オープンラボ
絵本『マンモスのしっぽ』の世界を体験しよう!	11 月 23 日~2 月 23 日	5 階基本展示室
未来の乗り物 UNI-CAB に乗ろう! 協力: Honda	11 月 23 日~2 月 23 日	5 階基本展示室
マンモスをもっと知ろう!	11 月 23 日~2 月 23 日	4 階サイエンスナビ
大型映像番組「アイスエイジ」	12 月 4 日~3 月 2 日	6 階ドームシアター

■その他のプログラム

内容	実施日	会場
“toio(トイオ)”でマンモスを動かそう！パート1 協力:株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	11月23・30日	4階サイエンス&クリエイティブ工房
ケナガマンモスをつくろう	11月30日 12月1・7・8日	5階オープンラボ
サイエンスカフェ「マンモスがいた時代の気候」 講師:伊藤久徳館長(福岡市科学館)	12月6日	4階サイエンスナビ
アストラルと火おこし体験～マンモスがいた頃の人のくらし～ 協力:福岡大学附属大濠中学校・高等学校、日本ボーイスカウト福岡県連盟	12月7日	福岡大学附属大濠中学校・高等学校第2グラウンド
“toio(トイオ)”でマンモスを動かそう！パート1 協力:株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	12月7・8・14・15・21日	4階サイエンス&クリエイティブ工房
みんなでマンモスに大変身！！～ダンボールワークショップ～ 協力:九州産業大学造形短期大学部	12月14・15日	4階交流室1
ゲノム(DNA)って何？～生きるしくみと歴史物語～ 協力:JT生命誌研究館	12月15日	4階実験室2
サイエンスカフェ「生きもの・私・自然(生命誌の世界観)」 講師:中村桂子氏(JT生命誌研究館 館長)	12月16日	6階サイエンスホール
「いたるところでマンモス展」応援大使になってオリジナル探検地図をつくろう！ 協力:株式会社教育と探求社	12月21・22日	4階実験室2
「いたるところでマンモス展」応援大使になって宣伝CMをつくろう！ 協力:株式会社教育と探求社	12月21・22日	4階実験室2
おはなし会 福岡市科学館オリジナル絵本『マンモスのしっぽ』 ほか 協力:福岡市科学館運営サポーター	12月21日 2月15日	4階サイエンスナビ
いたるところでマンモス展 クイズラリー～運営サポーターからの挑戦状～	12月24日～1月6日	5階基本展示室
科学実験プログラム「燃えるのはなぜ？」	1月(土日祝)	4階実験室
テーブルサイエンス「キバを持つ生きものたち」	1月～2月	5階基本展示室
科学実験プログラム「マンモスまとあて！～てこの原理を体感しよう～」	1月2日～1月5日	6階サイエンスホール
“toio(トイオ)”でマンモスを動かそう！パート2 協力:株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	1月4・5・12・18・19・25日	4階サイエンス&クリエイティブ工房
講演会「最後のマンモスはオーロラを見たか～絶滅の謎～」 講師:福田正巳氏(北海道大学名誉教授)	1月6日	6階サイエンスホール
おはなし会 絵本『マンモスとくらすには』ほか	1月18日	4階サイエンスナビ
講演会「マンモスとナウマンゾウ～ゾウの進化と氷河時代～」	1月19日	6階サイエンスホール

講師:近藤洋一氏(野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長)		
科学実験プログラム「キラキラ! 雪の万華鏡をつくろう」	2月(土日祝)	4階実験室
“toio(トイオ)”でマンモスを動かそう! パート2 協力:株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	2月1・2・8・9・15・16・ 22日	4階サイエンス&クリエイティブ工房
マンモスがうごく ひびのこづえ氏×藤村港平氏×川瀬浩介氏	2月15・16日	6階サイエンスホール
マンモスをつくろう[コスチューム・アーティスト・ひびのこづえ氏]	2月16日	4階交流室

(3) ドームシアター(プラネタリウム)事業

① 投映の実施状況

1) 投映番組

最新鋭のプラネタリウムシステムを駆使し、宇宙の最新情報を積極的に紹介し、クイズなどの観覧者とのインタラクティブな展開を取り入れるなど、新しいスタイルの生解説投映を実施。

A. 一般投映

種別	番組名	投映期間(2019年度)	回数(回)	利用者数(人)	
オリジナル制作番組	スペースフロンティア ～宇宙飛行士この一歩の為に～	10月4・5・11・12・18・19・ 21・25・26日	9	265	
	宙語り2019春 電脳的大宇宙	4月1日～6月10日	133	7,479	
	宙語り2019夏 宇宙人をさがす方法 - SETI -	6月12日～9月9日	184	16,719	
	宙語り2019秋 アインシュタインの宿題	9月11日～12月2日	153	9,950	
	宙語り2019冬 オーロラ - 光のメッセージ -	12月4日～2月26日(計 画3月2日)	153	12,054	
	宙語り2020春 ロケット -月を越えて-	3月21日(計画3月4 日)～3月31日	10	448	
全国配信番組	大人向け	銀河鉄道の夜	4月1日～6月30日、 9月8日～9月29日	24	2,395
		平原綾香 いのちの星の詩	4月1日～6月10日、 7月、8月	154	7,767
		星の旅 -世界編-	7月1～12月2日	184	19,263
		アイスエイジ	12月4日～2月26日 (計画3月2日)	90	5,943
		宇宙への旅	3月21日(計画3月4 日)～3月31日	10	268
	子供向け	妖怪ウォッチ プラネタリウムは星と妖怪がいっぱい!	4月1日～6月10日、 7月、8月	116	13,139
		ちびまる子ちゃん 星にねがいを	4月3日～5月6日	8	785
		プラネタリウム はなかっぱ 花さけ! パッカ～ん 宇宙旅行	6月12日～9月9日、 9月、10月	138	23,564
		プラネタリウム ちびまる子ちゃん それでも地球はまわっている	9月11日～2月26日(計 画3月2日)	197	23,415
		ワンピース プラネタリウム	3月21日(計画3月4 日)～3月31日	10	459
		計		1,573	143,913

B. スペシャル投映

番組名	投映期間(2019年度)	回数(回)	利用者数(人)
イルカの星 PLANET of DOLPHINS	4/1～9/9	127	4,496
時を刻むこの星空 with DREAMS COME TRUE	9/11～2/26(計画 3/2)	118	7,517
Milky Way & The Moon -忘れられない、天の川へ-	11/24～2/23(計画 3/1)	21	1,289
QUEEN -HEAVEN-	12/24～1/6	6	1,290
君に届けたい流れ星 songs by 東方神起	未投映(計画 3/4～3/31)	0	0
計		272	14,592

※『君に届けたい流れ星 songs by 東方神起』は、感染症対策による縮小運営のため投映していない。

C. 学習投映

種別	番組名	投映期間(2019年度)	回数(回)	利用者数(人)
小学校4年生向け	月と星	5月8日～2月26日(計画 3月13日)	108	15,691

※「2/26以降の1日学習中止」決定(2/25:福岡市)

このため、2/26の学習番組は小学4年生の利用はなく一般利用者のみであった。

小学4年生利用の学習番組の最終投映日は2/21となる。

2) スペシャルイベント

音楽、アート、映像、語りなど、毎回、各分野で活躍するゲストを招き、星空の下で味わう感動の体験を提供。

イベント名	実施日	回数(回)	利用者数(人)	出演者等(敬称略)
星語り ニッポンの星座たち ～春～	4月13日	2	144	丹野佳代子 (ドームシアタースタッフ)
荒木健太郎スペシャルトーク ～雲を愛する技術～	4月20日	1	149	荒木健太郎
プラネタリウムコンサート ～星空とバイオリン弾きの物語～	5月5日	2	182	D è L SoL è, 奥村健介
星語り ～幸せの星を目指して～	5月18日	2	293	角野知子 (ドームシアタースタッフ)
星兄の爆笑プラネタリウムショー	6月1日	2	191	星兄
KAGAYA スペシャルトークショー ～世界に星空と夢を求めて～	6月22日	1	215	KAGAYA
星語り 夏 セタスペシャル!	7月7日	2	433	丹野佳代子

“令和”-万葉の星めぐり-				(ドームシアタースタッフ)
LIVE in the DARK tour w/moumoon 福岡公演	7月27日	2	430	moumoon
高井研スペシャルトーク ～「いのちの始まり」に迫る極限環境生命研究～	8月3日	1	76	高井研
アポロ11号月面着陸50周年記念特別企画 ispace スペシャルトーク「月に跳ぶ人類の挑戦」	8月17日	2	268	秋元衆平
天文講演会 ～宇宙には、だれか いますか？～	9月1日	1	181	縣秀彦
プラネタリウムライブ ～COSMIC DANCE～	9月21日	1	79	MANON,中尾モンチ Noguchi Kazunobu
手寫葵スペシャルライブ ～瞬く星々の下で、幻想的な歌声に包まれる～	10月13日	2	425	手寫葵
星語り 秋の夜長の星空散歩	10月26日	2	239	丹野佳代子 (ドームシアタースタッフ)
特別上映会 QUEEN -HEAVEN-	11月9日	2	430	なし(番組上映)
熟睡プラ寝たりウム	11月23日	2	430	角田絢
星降る南阿蘇 ～天文台 LIVE 中継～	12月8日	1	215	高野敦史, (ソノッキー,ポーリー)
TEAM SURPRISE クリスマス ゴスペル コンサート	12月21日	1	184	TEAM SURPRISE
星語り 新春スペシャル 冬の星空散歩 & 天文トピック2020	1月4日	2	272	丹野佳代子 (ドームシアタースタッフ)
星兄の爆笑プラネタリウムショー	1月25日	2	312	星兄
スペシャルトーク アラスカの夜空とオーロラを満喫しよう!	2月8日	2	420	古賀祐三
LIVE in the DARK w/堂珍嘉邦 in 福岡市科学館ドームシアター	2月14日	2	430	堂珍嘉邦
LIVE in the DARK w/Salyu in 福岡市科学館ドームシアター	2月24日	2	418	Salyu
プラネタリウムライブ ～COSMIC DANCE～	3月14日	0	0	延期 (臨時休館のため)
計		39	6,416	

(4) 学習支援事業

① 演示

1) サイエンスショー

基本展示室の展示とは異なる科学とその見方を感じ取ってもらえるよう、来館者とコミュニケーションを取りながら展開する実験ライブを実施する。学校休業日は1日6公演、平日は2公演実施。



*は2019年度新規プログラム

**は外部講師による特別サイエンスショー

テーマ	実施期間	回数(回)	参加者数(人)
風・なぜ？ふしぎだぜ！	4・5・11月	119	5,663
ケミカル・カラフル・マジカルショー*	4・5・6・2・3月	193	6,793
もえろ！燃焼！実験ショー	4・5・9・10月	127	6,712
冷たい世界	6・7月	54	3,547
らくらく大作戦*	6～8月	130	6,520
まわれ！まわれ！ぐるぐる大作戦	7・8月	98	5,979
夏海ダイビング**	7・8月	3	257
空気ってなあに？	8～10月	112	6,746
サイエンスマジック	9・10月	57	2,957
意外と知らない！？綱引きの科学	11月	22	1,085
地震！ぐらぐら！実験ショー*	11・12月	72	2,723
ドキドキ！おどろき！静電気！	12・1月	72	3,250
ゴシゴシ！火起こし！体験ショー*	12・1月	46	2,855
ひびけ！音の実験ショー*	1～3月	114	3,033
ISSはどこにいる？～上空400kmの世界から～	2・3月	51	1,185
こびとのための飛ぶショー～飛びそーや！の冒険～**	2月	2	180
計		1,272	59,485

2) テーブルサイエンス

様々な分野の科学に対する興味・関心を持ってもらえるよう、科学実験の演示、科学の原理・原則の解説や参加型のプログラムなどを実施する。基本展示室内の2カ所に配置されたサイエンステーブルで、毎日10回ずつ実施。



*は2019年度新規プログラム

テーマ	実施期間	回数(回)	参加者数(人)
ど~なってるの?ヒトのからだ	4・11・12月	196	1,159
見えない光の世界	4・5月	135	812
水のふしぎを考えよう!	4・5月	135	1,053
だまし絵のふしぎ*	4・5月	135	877
発電のしくみ*	5・6・1・2月	255	1,353
ゆれのふしぎを考えよう!	6・7月	134	908
空気の力を見てみよう!	6・7・1・2月	256	1,554
ミクロの世界をのぞいてみよう!	6・11・12月	188	1,218
いきものに学ぼう!*	7・8・3月	208	1,188
有機ELってなあに?*	7・8月	142	1,067
太陽系のなかまたち	8・9・3月	209	1,219
このホネ、だれの骨?	8・9月	135	1,250
錯視を体験しよう!	9・10月	127	891
うずうず渦実験をしよう!*	9・10月	128	1,342
光のふしぎ	10・11月	133	776
心臓の音をきいてみよう!	10・11月	129	888
この音、きこえる?	12月	60	297
静電気を体験しよう!	12・1月	123	922
キバを持つ生きものたち*	1・2月	124	748
光と色	2・3月	131	275
ど~なってるの?ヒトのからだ(内臓編)*	3月	66	36
計		3,149	19,833

② 体験学習

1) 体験学習プログラム・イベント

A. 科学実験プログラム

幼児や小中学生、高校生など、幅広い世代に対し、科学の原理・原則に基づいた科学実験。土日祝のみ実施。



*は 2019 年度新規プログラム

**は外部団体との連携プログラム

テーマ	実施日	回数(回)	参加者数(人)
光のとおりみちを観察しよう*	4月1~7日、12月24~27日、1月6日	24	304
液体からプラスチックをとりだそう	4月13・14・20・21日、5月11・12・18・19日	16	222
見えるのはなぜ?*	4月27~30日、5月1~6日	20	292
波乱万丈！生きものの38億年の歴史を紙工作で体感**	5月25・26日	4	60
偏光の世界であそぼう*	6月1・2・8・9・15・16・22・23・29・30日	20	287
海のいきものをさがそう*	7月7・13~15・20~31日	34	500
印刷の色ってどうやってできるの?*	8月1~7日	14	189
浮チンアナゴをつくろう*	8月8~26・31日、9月1日、11月16・17日	44	679
顕微鏡をつかってみよう	9月7・8・14~16・21~23・28・29日、3月26~31日	32	284
磁石のふしぎを体験しよう	10月5・6・12~14・22・26・27日	16	179
ペンの色のひみつを探ろう	11月2~4・9・10・23・24・30日	16	228
クリスマスにぴったりな結晶をつくろう	12月1・7・8・21・22日	10	135
オリジナルアロマキャンドル作り**	12月14・15日	4	48
マンモスマとあて!*	1月2~5日	8	629
燃えるのはなぜ?*	1月11~13・18・19・25・26日	8	174
キラキラ！雪の万華鏡をつくろう*	2月1・2・8・9・11・15・16・22~24・29日、3月1日	24	286
シャボン玉のふしぎ	3月8・20~22日	8	0
計		302	4,496

B. ものづくりプログラム

身のまわりにある材料を使ったものづくりを体験、科学の原理・原則を楽しみながら学べるプログラム。土日祝のみ実施。



*は 2019 年度新規プログラム

**は外部団体との連携プログラム

テーマ	実施日	回数(回)	参加者数(人)
スーパー紙飛行機をつくろう	4月1~7日	7	1,470
まるいかざぐるまをつくろう	4月13・14・20日、5月11・12・18・25日	28	338
〇〇をつかまえよう*	4月27~30日、5月1~6日	40	587
ハサミチョキチョキ飛び出すカード**	5月26日	2	40
ホバークラフトをつくろう*	6月1・2・8・9・15・16・22・23・29・30日、 2月1・2・8・9・11・15・16・22~24・29日	84	749
バランストンボをつくろう	7月6・7・13~15日、3月1・7・8・14・20~22日	48	279
スライムをつくろう*	7月21~28日、8月1~26・31日、9月1日	100	2,987
ふわふわ浮かせてあそぼう*	9月7・8・14~16・21~23・28・29日	40	568
マーブリングでカラフル工作	10月5・6・12~14・22・26・27日	32	434
飛ぶタネの模型をつくってあそぼう	11月2~4・9・10・17・30日	28	235
ペーパークラフト自動販売機をつくろう**	11月23・24日	4	33
ふしぎ！絵が消えるカードをつくろう	12月1・7・8・14・22・24~27日	36	439
パタパタおもちゃをつくろう*	1月2~6日	20	115
リング紙飛行機をつくろう	1月12・13・18・19・25・26日	24	303
星のモビールをつくろう*	3月26~31日	24	0
計		517	8,577

C. セミナー・講座

科学への興味・関心の入口となるよう、最新の科学情報に関する話題や科学的要素を含んだ流行などの社会動向、来館者の要望などに応じて、様々なテーマでセミナー・講座を実施。



内容	実施日	参加者数(人)	対象年齢	共催・講師等（敬称略）
波で見る物理の世界	4月18日～7月18日(4回)	76	高校生以上	中山正敏(九州大学名誉教授)
おもちゃ病院	4月28日～2月23日(11回)※3月中止	205	どなたでも	おもちゃ病院エフネットグループ
母の日ブリザーブドフラワーアレンジメント	4月17日	10	どなたでも	宮川弥須子 他
ハーバリウム(植物標本)を作ろう!	6月19日	17	どなたでも	宮川弥須子 他
九州産業大学×4D 王コラボ「かいじゅうの時間」	6月22日～23日	36	小学生以上	森下慎也(九州産業大学造形短期大学部)
サイエンスホール体験会	6月24日	30	小学生以上	
JT 生命誌研究館展示	7月22日～24日	205	中学生以上	JT 生命誌研究館スタッフ
子ども新聞をつくろう	8月2日	48	どなたでも	読売新聞スタッフ
「ぶっとんでいきもの展」科学館スタッフによるミニトーク	8月5日・20日	50	どなたでも	
「地球外生命探査への挑戦!～現役NASA エンジニアからのメッセージ～」	8月7日	280	どなたでも	石松拓人(NASA JPL)
流れで見る物理の世界	8月8日～11月21日(4回)	40	どなたでも	中山正敏(九州大学名誉教授)
親子で作ろう!ハーバリウム(植物標本)	8月21日	26	どなたでも	宮川弥須子 他
JAXA 若田名誉館長 講演会	10月6日	469	小学校3年生～中学生	若田光一名誉館長(福岡市科学館)
風船先生実験室	10月6日	15	小学校4年生以上	九州大学学生、アムステルダム応用科学大学学生
ブリザーブドフラワー講座	10月16日・12月11日	21	どなたでも	宮川弥須子 他
サイエンス☆どんたく※1	11月2日～4日	3,583	どなたでも	※2
ROBOLABO プログラミング教室	11月16日	27	高校生以上	日本アイ・ビー・エム株式会社、ユーオス・グループ九州支部
“toio(トイオ)”でマンモスを動かそう!	11月23日～2月22日(40回)	385	小学校4年生以上	
動いている地球の物理	12月19日～2月20日(3回)※3月19日は中止	27	中学生以上	中山正敏(九州大学名誉教授)

応援大使になってオリジナル探検地図をつくろう！	12月21日・22日	8	小学校4年生以上	協力：株式会社教育と探求社
応援大使になって宣伝CMをつくろう！	12月21日・22日	5	どなたでも	協力：株式会社教育と探求社
カイコの繭から真綿づくり	12月25日・1月5日	68	高校生以上	池永照美(九州大学農学部大学院生物環境資源学府博士後期課程)
最後のマンモスはオーロラを見たか～絶滅の謎～	1月6日	178	小学校4年生～6年生	福田正己(北海道大学名誉教授)
講演会「マンモスゾウとナウマンゾウ～ゾウの進化と氷河時代」	1月19日	132	どなたでも	近藤洋一(野尻湖ナウマンゾウ博物館 館長)
マンモスがうごく ひびのこづえ×藤村港平×川瀬浩介	2月15日・16日	193	どなたでも	ひびのこづえ・藤村港平・川瀬浩介
マンモスをつくろう	2月15日・16日	120	3歳以上	ひびのこづえ
蘭のハーバリウム(植物標本)を作ろう	2月19日	15	どなたでも	宮川弥須子 他
サイエンスコミュニケーション中級講座	2月23日	16	18歳以上	小川達也(国立科学博物館)
カタのみかた -柿右衛門様式磁器と型を使った成形技法-	2月24日	24	小学生以上	濱川和洋(九州産業大学助教)
ストIIキャラで紙相撲対戦!!	3月14日・15日	中止		
プロが教える塗り絵の極意！	3月14日・15日	中止		
embot でプログラミング体験	3月28日	中止		
計		6,309		

※1 サイエンス☆どんたく：科学にまつわる活動を行う市民が集うお祭りを開催。各団体の出展ブースでのワークショップを通じて、科学に興味がある人もない人も交流しながら学べる場とした。今年は13の団体が出展し、活動の紹介や体験型のワークショップを行った。他団体の活動を知り、関係性を構築できる機会となった。

※2 出展団体一覧(敬称略)：香椎工業高校科学部、福岡工業大学附属城東高等学校科学部、Kids Code Club、JT 生命誌研究館、ロボット楽団 オルディオン、宮崎科学技術館、福岡きのこ友の会、福岡大学理学部化学科物理化学課外ゼミ、九州産業大学、保健環境学習室「まもる一む福岡」、理科読風ぐるま、WDB 株式会社 エウレカ社 サイエンス教室プロジェクト、株式会社 NINE PER ONE ツミキプロジェクト

D. サイエンスカフェ

科学者との関わりや会話によって、科学への興味を深掘りし、最新の科学情報に関する話題や科学的要素を含んだ流行などの社会動向について、科学者と科学について気軽に語り合う場を設置。



内容	実施日	参加者数(人)	共催・講師等 (敬称略)
脳をだまして錯覚を楽しもう！トリックアートと錯視のはなし	4月25日	19	伊藤裕之(九州大学大学院芸術工学研究院 デザイン人間科学部門知覚心理学分野 主幹教授)
館長のキチョーな気象のはなし3～梅雨～	6月7日	17	伊藤久徳館長(福岡市科学館)
サイエンス&クリエイティブワークカフェ「レゴ・シリアスプレイ」	6月12日	10	間間理(九州産業大学 教授)
アポロ11号月面着陸50周年記念企画 S&Cワークカフェ 「月の宇宙人を想像しよう」	7月20日	16	館スタッフ
館長のキチョーな気象のはなし4 ～台風編～	8月2日	21	伊藤久徳館長(福岡市科学館)
ぶっとんでるにはワケがある！～海の生き物たちについて知ろう～	8月24日	25	講師:岩田知彦(マリンワールド海の中道 副館長)
サイエンス&クリエイティブワークカフェ ARやVR体験して仕組みを知ろう！	10月15日	5	吉永崇(公益財団法人九州先端科学技術研究所)
マンモスがいた時代の気候	12月6日	14	伊藤久徳館長(福岡市科学館)
温泉科学の専門医ってなに？～お風呂を科学しよう～	12月8日	33	早坂信哉(東京都市大学人間科学部 教授)
サイエンスカフェ ゲノム(DNA)って何？	12月15日	20	川名沙羅(JT生命誌研究館 表現を通して生きものを考えるセクター 研究員)
生きもの・私・自然(生命誌の世界観)	12月16日	34	中村桂子(JT生命誌研究館 館長)
なるにはカフェ「恐竜と仕事をするには？」	1月12日	61	真鍋真(国立科学博物館 標本資料センター・コレクションディレクター、分子生物多様性研究資料センター・センター長)
アミノ酸の新パワーを健康に役立てよう！	1月30日	22	古屋茂樹(九州大学大学院農学研究院生物機能デザイン分野 教授)
岩石に学ぶ生命と地球の歴史	3月6日	中止	新型コロナウイルスの影響で中止
計		297	

E. 天体観測会

年間を通して、福岡の天空に広がる星々を直接見てもらう天体観測会を定期的を開催。

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実施回数(回)	2	4	0	2	2	2	3	2	2	1	3	2	25
参加人数(人)	90	265	0	71	0	50	145	77	50	60	87	0	895

F. フィールドワーク

福岡市内各所を巡り、身近なまちの景色のなかにある「科学」を発見・体感する体験学習を実施。



内容	実施日	参加者数(人)	共催・講師等 (敬称略)
サイエンススポットまち歩き ～春～	4月13・14日	11・5	中村佳史(株式会社 HUMI コンサルティング)
はじめてのフィールドワーク 親子ではっぱ探検隊!	5月15日、8月7日 10月11日、12月18日 1月29日	9・13・ 2・16・ 4	
コウモリを観察しよう	6月5日、7月3日、 9月14・20日、 10月12日	12・15 5・14 16	
サイエンススポットまち歩き ～夏～	7月27日	16	中村佳史(株式会社 HUMI コンサルティング)
サイエンススポットまち歩き ～番外編～「街ナカ化石ツアー」	9月22日、 2月29日午前・午後	中止 中止	9月台風のため中止 2月 コロナ対策により中止
サイエンススポットまち歩き ～秋～	11月9・10日	7,9	中村佳史(株式会社 HUMI コンサルティング)
大濠公園で野鳥を観察しよう	12月1日、1月11日 2月22日	13,10 10	
アトラトルと火おこし体験	12月7日	59	井手直秀(日本ボーイスカウ ト福岡県連盟 粕谷第10団 団員長)ほか
サイエンススポットまち歩き ～冬～	3月7日	中止	中村佳史(株式会社 HUMI コンサルティング)
サイエンススポットまち歩き ～特別編～	3月28・29日	中止	中村佳史(株式会社 HUMI コンサルティング) 皆川典久(東京スリパテ学 会会長)
～生活を守り、命を守る～ 私たちの暮らしを支える「セメント 工場」を見てみよう!	3月27日	中止	コロナ対策により中止
	計 26回	246	

2) ロボスクエアに関する運営

YOKA ロボまつり等の7つの事業開催と、各種コンテスト出場のための講座を行う。

内容	実施日	参加者数(人)	会場
YOKA ロボまつり 二足歩行ロボットバトル大会、サッカー大会	5月19日、6月16日、 7月21日、8月18日、 12月15日、1月19日	1,631	5階オープンラボ
ロボカップジュニア、 ロボツスカベンジャー 関連工作教室	4月6・14・27日、 5月1・2・4・5・19日、 6月16・22日、 7月13・14・21・27・28日、 8月17・24日、 9月14日・15日、 10月13・22日、 11月17日、 12月15・21日、 1月11・18・19日、 2月16日、 3月14・15日 ※中止	360	4階工作室・実験室、 6階サイエンスホール
国際宇宙ロボット火星ローバーコンテスト	8月11日	82	6階サイエンスホール
ムラタセイサク君、ムラタセイコちゃんが やってくる！	3月3日～4日 ※開催中止	0	老司小学校、田島小学校、香椎 東小学校、照葉北小学校、志賀 島小学校
ロボカップジュニア関連大会	11月10日、12月22日、 1月26日	320	6階サイエンスホール
ロボメカデザインコンペ	12月7日	50	6階サイエンスホール
ヒューマノイドカップロボットバトル大会	2月2日	65	6階サイエンスホール
スカベンジャーロボ競技大会	2月1日	5	5階オープンラボ
計		2513	

3) クラブ活動

継続的に共に科学を学ぶ仲間づくりができるよう、自らの興味や関心に応じて自由に参加できるクラブを設置。

● 無線クラブ

対象:小学校4年生～高校3年生、クラブメンバー数:13人、講師(敬称略):城戸伸夫

実施日	内容	実施日	内容
4月7・21日	プレ 無線通信ってなに	10月6・27日	野外移動運用、情報交流
5月12・19日	開講式、自己紹介、活動計画	11月10・24日	PC関連の初歩、情報交流
6月9・23日	資格取得指導、通信による情報交流	12月8・22日	通信方法指導および情報交流
7月7・21日	資格取得指導、通信による情報交流	1月5・19日	通信方法指導および情報交流
8月4・17日	受験前資格取得指導、情報交流	2月2・16日	通信方法指導および情報交流
9月8・22日	半田、アンテナ工作および特性研究	3月7・15日※	通信方法指導、情報交流、閉講式

※新型コロナウイルスの影響で中止

● 工作クラブ

対象:小学校4年生～小学校6年生、クラブメンバー数:12人、講師(敬称略):大村健二

実施日	内容	実施日	内容
4月13・20日	プレクラブ「木の動くおもちゃ」(木工)	10月12・26日	基礎(モーターを使う), (電子工作)
5月11・25日	開講式・基礎(木工)	11月16・30日	基礎(電子工作)
6月8・22日	基礎(木工)	12月7・21日	基礎(電子工作), 発展(オリエンテーション)
7月6・20日	基礎(プラスチック加工)	1月11・25日	発展(オリジナル作品製作)
8月3・24日	基礎(金属加工)	2月8・22日	発展(オリジナル作品製作)
9月7・21日	基礎(金属加工), (モーターを使う)	3月7・21日※	発展(オリジナル作品製作), 閉講式

※新型コロナウイルスの影響で中止

● ネイチャークラブ

対象:小学校3年生～小学校6年生、クラブメンバー数:20人、講師(敬称略):荒木信行

実施日	内容	実施日	内容
4月14・20日	お試し体験	10月5・26日	ハンドパワー, 空気の秘密
5月12・18日	化石って何?, 天神化石散歩	11月3・16日	アトラトルと火起こし, 音と磁石の秘密
6月8・15日	ホタル・植物の気孔観察(プラネ見学)	12月7・14日	バルーンロケットを飛ばそう, 光って何?
7月6・20日	重さって?, 人の体って?	1月11・25日	種の秘密, 野鳥観察(プラネ見学)
8月3・24日	昆虫採集, 樋井川の生き物調査	2月8・22日	表面張力って何?, 静電気って何?
9月7・28日	月を見よう, 電磁石って?(プラネ見学)	3月1・7日※	空気砲で遊ぼう, モビールを作ろう

※新型コロナウイルスの影響で中止

● ロボットクラブ

対象:小学校3年生以上、クラブメンバー数:5月～24人・10月～24人、講師(敬称略):北原達正・吉田宗可・清水楓太

実施日	内容	実施日	内容
4月6・14日	お試し体験	10月13・14・22日	お試し体験
5月12・26・27日	ロボットプログラムの基礎, センサー1個	11月23日	ロボットプログラムの基礎, センサー1個
6月9・23日	サッカー, ライトレース, センサー2個	12月7・22日	センサー1個, サッカー
7月7・15日	センサー2個, プログラミング	1月18・26日	センサー2個, プログラミング
8月4・25日	センサー3個, サブプログラム	2月1・15・23日	センサー3個, サブプログラム
9月8・22日	コンテスト練習, コンテスト	3月14・28日※	コンテスト練習, コンテスト

※新型コロナウイルスの影響で中止

● 実験研究クラブ

対象: 小学校3年生以上、クラブメンバー数: 5月~22人・10月~15人、講師(敬称略): 北原達正・吉田宗可・清水楓太

実施日	内容	実施日	内容
4月6・14日	お試し体験	10月14・22日	お試し体験
5月19日	重力加速度①, ②	11月16・30日	重力加速度①, ②
6月2・16・30日	重力加速度③, レポートについて	12月14・21日	重力加速度③, レポートについて
7月14・28日	ワード等の使い方、発表練習	1月11・25日	温度変化①, ②
8月18日	温度変化①	2月8・22日	発表練習, ワード等の使い方
9月1・15・29日	温度変化②, 発表会準備, 発表会	3月7・21日※	発表会準備, 発表会

※新型コロナウイルスの影響で中止

● プログラミングクラブ

対象: 小学校3年生以上、クラブメンバー数: 5月~24人・10月~24人、講師(敬称略): 北原達正・吉田宗可・清水楓太

実施日	内容	実施日	内容
4月6・14日	お試し体験	10月14・22日	お試し体験
5月19日	スクラッチ①	11月16・30日	スクラッチ①, ②
6月2・16・30日	スクラッチ②, ③, 発表会	12月14・21日	スクラッチ③, 発表会
7月14・28日	VBA①, ②	1月11・25日	VBA①, ②
8月18日	VBA③	2月8・22日	VBA③, ④
9月1・15・29日	VBA④, 発表会準備, 発表会	3月7・21日※	発表会準備, 発表会

※新型コロナウイルスの影響で中止

● デジタル工作クラブ

対象: 中学生以上、クラブメンバー数: 5月~5人・10月~5人、講師(敬称略): 大井涼介

実施日	内容	実施日	内容
4月8・22日	お試し体験	10月7・14日	お試し体験
5月13・27日	開講式, レーザーカッター	11月11・25日	開講式, レーザーカッター①
6月10・24日	3Dプリンター①, ②	12月9・23日	レーザーカッター②, 3Dプリンター①
7月8・22日	UVプリンター, アクセサリー制作	1月13・27日	3Dプリンター②, ③
8月12・26日	作品制作①, ②	2月10・24日	作品制作①, ②
9月9・23日	作品制作③, 発表会	3月9・23日※	作品制作③, 発表会

※新型コロナウイルスの影響で中止

● みんなでつくるみんなの科学館クラブ

対象:18歳以上、クラブメンバー数:5月～10人、講師(敬称略):遠藤幹子

実施日	内容		
4月5・19日	お試し体験		
5月17・31日	イントロダクション, 3Dモデリング		
6月14・28日	3Dプリンター, レーザーカッター		
7月5・12日	作品制作①, ②		
8月16・30日	作品制作③, ④		
9月13・27・29日	作品制作⑤, ⑥		

● 大人のサイエンス・クリエイティブクラブ

対象:18歳以上、クラブメンバー数:10月～7人、講師(敬称略):遠藤幹子

実施日	内容		
10月11・25日	お試し体験		
11月29日	レーザーカッター, 3Dモデリング		
12月6・13・27日	3Dモデリング, 3Dプリンター, UVプリンター		
1月10・24日	作品制作①, ②		
2月7・21日	作品制作③, ④		
3月6・20日※	作品制作⑤, ⑥		

※新型コロナウイルスの影響で中止

③ 学校連携

1) 学校支援

● 1日学習

福岡市立の小学校4年生を対象とし、実験教室、ドームシアターでの学習投映、基本展示室体験を中心に、学校の要望に応じて複合的な学習を展開。

・利用実績

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	0	1,057	1,070	885	116	1,797	1,734	1,684	1,484	1,486	1,257	0	12,570人
件数	0	9	12	9	1	15	17	21	18	17	15	0	134件
													127校

・1日の時間割例(当日の参加学校数や児童数により、変動)

グループ	A	B	C
10:00~10:15	朝の会		
10:30~11:15	ドームシアター 学習投映		
11:30~12:15	実験教室<化学>	実験教室<生物>	実験教室<物理>
12:30~13:15	昼食		
13:15~14:00	基本展示室 体験		
14:15~14:30	帰りの会		

2) 出前授業(移動天文台事業・移動科学館事業含む)

福岡市内の小学校・中学校などを対象とし、学校の依頼に応じて移動天文車や移動科学館車を活用し、天体観測や移動プラネタリウム、サイエンスショー、科学実験プログラム等を実施。

実施学校名	実施日	参加者数(人)	実施学校名	実施日	参加者数(人)
若久小学校	6月17日	100	笹丘小学校※	11月1日	667
城原小学校	7月4日	71	賀茂小学校	11月8日	99
野多目小学校	7月11日	30	西高宮小学校	11月13日	216
北崎小学校	9月13日	16	飯原小学校	11月20日	80
博多小学校	9月25日	98	西高宮小学校	11月21日	50
田村小学校	10月2日	29	老司小学校	11月22日	85
照葉小学校	10月3日	24	博多小学校	11月29日	134
四箇田小学校	10月7日	70	千早西小学校	12月9日	61
鳥飼小学校	10月10日	48	弥永西小学校	12月18日	78
光陵小学校	10月16日	76	東花畑小学校	1月23日	94
野多目小学校	10月17日	20	計 23件 2,208人		
若久小学校	10月21日	27			
草ヶ江小学校	10月31日	35			

※高学年の児童が低学年の児童に対して演示することを支援する「活動支援型」も実施

3) 学校教員との連携

・教員向けセミナー、定例会 等

内容	実施日	参加人数(人)
教員対象説明会 (1日学習および福岡市科学館について)	4月12日	134
中学校お試し半日利用(城西中学校1年生)	4月18日	260
中学校 校長会長へ挨拶 (西福岡中学校)	5月10日	2
小学校 校長会長へ挨拶 (板付北小学校)	6月3日	2
SSH校との打ち合わせ (福岡県立城南高等学校)	7月16日	2
福岡市小学校理科研究会 9月定例会	9月4日	37
福岡県立玄界高等学校 (利用促進に向けて集合場所提供)	9月18日	313
福岡市小学校理科研究会 10月定例会	10月2日	36
福岡市小学校理科研究会 11月定例会	11月13日	29
教員対象研修会① (鹿児島大学 山本先生)	11月16日	7
福岡市小学校理科研究会 12月定例会	12月4日	34
福岡市理科研究委員会(福岡市校長会組織)教材研修会を含む	12月9日	11
福岡市小学校理科研究会 1月定例会	1月15日	34
教員対象研修会② (東京大学 川上先生)	1月18日	9
福岡市小学校理科研究会 1月定例会	2月5日	45
計		955

・博物館実習

内容	実施日	参加人数(人)
博物館学芸員実習	8月29日～9月8日	5

④ アウトリーチ活動

移動天文車や移動科学館を活用し、公民館や公共施設に出向いて、移動プラネタリウム、サイエンスショー、科学実験プログラム等を実施。

訪問先	実施日	参加者数(人)	訪問先	実施日	参加者数(人)
NHK 放送会館	5月4日	150	塩原公民館	10月12日	110
照葉公民館	7月22日	20	橋本車両基地	10月13日	200
小笹公民館	7月24日	40	香椎下原公民館	10月14日	50
下山門1丁目子供会	7月25日	35	東吉塚公民館	11月2日	40
多々良小留守家庭子ども会	7月26日	103	アミカス	11月3日	17
愛宕公民館	7月29日	30	こども病院	11月14日	8
玉川校区社会福祉協議会	7月30日	120	飯倉中央公民館	11月16日	10
今宿公民館	8月2日	30	南片江小学校 PTA	11月23日	135
福重公民館	8月4日	13	原公民館	11月30日	21
田島公民館	8月5日	20	福岡工業大学付属城東高等学校科学部	12月6日	50
松島公民館	8月6日	0(中止)	舞鶴公民館	12月7日	25
当仁公民館	8月7日	30	まもる一む福岡	12月8日	38
三宅公民館	8月8日	19	賀茂公民館	12月14日	38
大池公民館	8月10日	25	箱崎公民館	12月24日	60
長住校区青少年育成連合会	8月18日	22	小田部公民館	12月25日	60
百道浜公民館	8月19日	30	下山門公民館	12月26日	30
特定非営利活動法人アクションタウンラボ	8月23日	40	香椎東公民館	1月11日	46
入部公民館	8月24日	16	三筑公民館	1月18日	30
堤丘校区青少年育成連合会	8月25日	34	飯倉公民館	2月1日	30
姪北公民館	8月31日	24	こども病院	2月6日	8
動植物園	9月7日	0(中止)	鶴田公民館	2月8日	52
西長住公民館	9月7日	77	吉塚校区 子ども育成連合会	2月9日	45
背振少年自然の家	9月14日	210	富士見3丁目子ども会	2月15日	70
城香中学校区青少年育成連絡協議会	9月14日	120	西都公民館	2月22日	0(中止)
ふれあい城南運営委員会	9月22日	0(中止)	北崎公民館	2月23日	0(中止)
板付公民館	9月28日	40	松島公民館	2月29日	0(中止)
元岡中学校	10月2日	50	東光公民館	3月7日	0(中止)
西戸崎校区子ども育成連合会	10月5日	68	堅粕人權のまちづくり館	3月19日	0(中止)
コミセンわじろ	10月6日	57	計 55 件 2,580 人 (+院内学級 2 件 16 名)		

⑤ サイエンスナビ活動

1) サイエンスナビ

多様な情報を探索できるサイエンスナビシステムや、科学的な思考にいざなう書棚、ミッションボードなどで、科学の楽しさを体感できる空間。

2) イベント(おはなし会)

実施日	参加者数(人)	実施日	参加者数(人)
4月20日	15	10月19日	19
5月18日	15	11月2日	12
6月15日	20	12月21日	22
7月6日	30	1月18日	32
7月7日	50	2月15日	23
8月17日	19	3月中止	0
9月21日	20	計	277

3) 図書貸出冊数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当館所蔵書籍	548	440	590	677	726	631	541	463	499	498	494	235	6342
市図書館所蔵	4,886	4,990	4,717	5,644	6,403	6,394	6,046	6,533	5,779	6,027	5,979	1,879	65,277

4) サイエンスナビ内展示物

内容	展示期間
春の花(タンポポなど)	4/初～5/末
新書コーナー	4/初～5/末
トリックアート展の書棚	4/中～6/中
雲	5/初～
アポロ月面着陸の書籍	6/中～7/中
海の生き物	7/13～8/25
ぶっとなでる生きもの展(生き物の展示・クイズ)	7/13～8/25
縣秀彦氏の本・ミニチュア展	8/25～9/末
若田光一名誉館長著作本・ノーベル賞	9/末～10/9
ドングリの工作・新書コーナー	10/9～12/1
オーロラ	12/1～12/25
首里城	11/1～11/23
中村桂子氏著作本・マンモス展	11/23～2/23
中村哲氏・山田堰	12/6～1/17
真鍋真氏著作本・シベリア(いとうせいこう)	1/9～1/18

静電気について・空気について・花について・北斗七星	1/19～現在
ウイルス・感染症関連	2/5～現在

5) サイエンススポット登録

12 箇所を新規登録(一部未公開)

大濠公園の野鳥、大濠公園中の島、大濠公園の浄水、アクロス福岡、緑のダムと背振の湧き水、野生のアカハラヤモリ、測量標、天神 水鏡天満宮、六本松 421 ビル屋上、福岡城カワセミ、福岡城井戸、福岡城水の手

(5) 交流事業

① 地域交流

1) 福岡ミュージアムウィーク 2019

- [1] 期間 2019 年 5 月 18 日(土)～26 日(日)
- [2] 会場 福岡市内の 18 施設
- [3] 参加者数 758 人(福岡市科学館における人数のみ)
- [4] 主催 福岡ミュージアム連絡会議事務局(福岡市経済観光文化局文化振興課)
- [5] 実施内容 館内クイズラリー、豆知識ツアー 等

2) 六本松ご近所コラボ

- [1] 期間 2019 年 5 月 4 日(土)
- [2] 会場 NHK 福岡放送会館
- [3] 参加者数 150 人(ワークショップにおける人数のみ)
- [4] 主催 NHK 福岡放送局
- [5] 協力 福岡市美術館、福岡市科学館
- [6] 実施内容 マーブリングはがきづくり

3) テンジン大学コラボイベント

- [1] 期間 2019 年 6 月 22 日(土)
- [2] 会場 6 階サイエンスホール
- [3] 入場者数 148 人
- [4] 主催 福岡テンジン大学
- [5] 共催 福岡未来創造プラットフォーム
- [6] 特別協力 福岡市博物館
- [7] 実施内容 テクノロジー時代の大人の学び～科学館・博物館・美術館の館長に聞いてみよう！
テクノロジーの進化は待ってくれない！～人生 100 年時代の大人の学びとは？

4) 六本松青陵七夕まつり

- [1] 期間 2019年7月6日(土)~7日(日)
- [2] 会場 六本松 421 近郊
- [3] 参加者数 1,317 人
- [4] 主催 青陵の街・六本松 421 会、草ヶ江校区まちづくり協議会、JR 九州ビルマネジメント
- [5] 協力 六本松商店連合会、福岡市科学館
- [6] 後援 草ヶ江校区自治協議会
- [7] 実施内容 天体観測会、おはなし会、手のひら宇宙万華鏡をつくろう 等

5) おいでよ！絵本ミュージアム連携企画 TNC アナウンサーによる絵本おはなし会

- [1] 期間 2019年7月30日(火)
- [2] 会場 6階サイエンスホール
- [3] 入場者数 90 人
- [4] 主催 福岡アジア美術館、TNC テレビ西日本
- [5] 協力 福岡市科学館
- [6] 実施内容 TNC アナウンサーによる絵本おはなし会

② リポート利用に向けた取り組み

1) 科学館ファンクラブの登録者数及び運営状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	49	65	63	93	108	78	71	45	48	57	39	5	721
開館からの累計													3,782

2) 年間パスポート購入枚数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	685	492	420	841	847	532	241	208	257	393	242	38	5,196

③ 広報・情報発信の状況

・広報誌、リーフレット、ホームページ 等

種別	内容	発行時期	備考
館案内リーフレット	日本語版、英語版、中国語版、韓国語版	随時	2019年10月改訂
来館者向け利用案内	マップ、各種料金などを掲載	随時	
福岡市科学館 年報	2018年度(平成30年度)版	年1回	館ホームページに掲載

季刊誌 「SCIENCE & CREATIVE」	科学に関する解説や、館の行事予定などを掲載	年 4 回	Vol.6. 3 万部、Vol.7. 3 万部、Vol.8. 10 万部、Vol.9. 3 万部
アクティビティタイムテーブル	サイエンスショー、科学実験プログラムなど活動の情報を掲載	毎月	
ドームシアターリーフレット	ドームシアターの番組情報や放映スケジュールを掲載	毎月	
ポスター	特別展やドームシアター番組などを掲出	随時	地下鉄や市の広報板など
チラシ	イベントごとにチラシを作成し配布	随時	市民利用施設など
市内小中高校生無料券引換 チラシ	基本展示室とドームシアター一般番組が利用可能	年 1 回	市内全小中高校生の児童生徒に配付 約 16 万部
デジタルサイネージ	特別展やドームシアター番組などを掲出	随時	地下鉄六本松駅、六本松 421 ビル内 1・3・4・6 階
ホームページ	館の情報提供やイベント案内などを掲載	随時	
ツイッターなど SNS	本日の館のイベント情報などを発信	ほぼ毎日	

・メディア掲載件数

放送	101 件
新聞、出版、情報誌、WEB 掲載等	634 件

④ 交流室の利用に関する取り組み

当館には小学生の 1 日学習や様々な活動で約 200 名が利用できる空間「交流室」がある。

館事業で使用していない日は、来館者の休憩場所や昼食場所、読書や学習に多目的に活用できる場所として開放している。近年、来館者層の低年齢化が進んでいると言われる科学館において、近隣の中学生・高校生も多数訪れる人気の場所となっている。

多目的に自由に利用できる場所として多くの来館者が訪れる反面、昼食時間帯の混雑や長時間の占有、ゴミの放置等利用マナーの悪化も見られるようになった。

当館の運営基本方針である「人が育ち、未来をデザインしていく科学館」を念頭に試行錯誤し、2019 年度は主に下記対策を実施した。

- ・放置された荷物を拾得物として預かり返却時に利用マナーへの理解を促す。
- ・11:30～13:30 を昼食専用時間帯と制限する。
- ・上記制限しつつ、自習等食事以外の目的で利用希望の方には 13:30 以降の入室整理券を配布する。
- ・16:00～18:00 の間スタッフが同室内で一定時間駐在し利用者とのコミュニケーションを図ることで、利用マナーの向上と、防犯・安全管理をする。

九州産業大学の協力のもとアンケートも実施したが、年度末からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館等の影響により、収集した回答の分析や今後の対策への反映には残念ながら至らなかった。2020 年度以降も継続的に、交流室の活用のための取り組みを実施していく予定である。

(6) 育ち支援、ネットワーク形成事業

① 子ども参画

1) ミニふくおか 2019

2019 年度子ども参画事業の一環として、「ミニふくおか 2019」に科学館として参画。仮想のまちミニふくおか内に「ミニ科学館」を設置する。その運営はミニふくおかサイエンスチームのサポーターで行う。

ミニふくおかサポーター4 名に対して、「ミニ科学館」を設置、運営するための科学知識、プレゼンテーションなどのレクチャーを 5 月から 8 月までの期間で行った。ミニ科学館では、ドローン体験とサイエンスショー(テーブルサイエンス)を実施した。4 ヶ月間で 8 回の会議を行い、ミニふくおかのまちの中でのミニ科学館の役割や、ドローンの技術講習、サイエンスショー(テーブルサイエンス)の演習練習をした。

実施日	イベント名	内容	参加人数
5 月 11 日	オリエンテーション	サポーター顔合わせ、ボランティア講座	28 名(内担当は 4 名)
5 月 12 日	第 1 回実行委員会	実行委員と顔合わせ、チームビルド	28 名(内担当は 4 名)
5 月 19 日	第 2 回実行委員会	クリエイティブワークショップ	28 名(内担当は 4 名)
6 月 16 日	第 3 回実行委員会	ドローン操縦をマスターしよう	28 名(内担当は 4 名)
7 月 7 日	第 4 回実行委員会	まちの中のサイエンスを考える WS	28 名(内担当は 4 名)
7 月 15 日	第 5 回実行委員会	まちの中のドローンの仕事を考える WS	28 名(内担当は 4 名)
7 月 21 日	第 6 回実行委員会	チーム内リハーサル	28 名(内担当は 4 名)
7 月 28 日	第 7 回実行委員会	全体リハーサル	28 名(内担当は 4 名)
8 月 11 日	第 8 回実行委員会	当日運営の共有	28 名(内担当は 4 名)
8 月 19 日	前日準備	会場設営	28 名(内担当は 4 名)
8 月 20 日	本番	ドローン操縦士、ドローン整備士、ドローン安全保安	1,500 名(3 日間累計)
8 月 21 日		員の求人	
8 月 22 日		ステージ上でサイエンスショー	
9 月 15 日	振り返り	今年のミニふくおかの振り返り	28 名(内担当は 4 名)

2) 応援大使ワークショップ

企画展「いたるところでマンモス展」の中の企画のひとつとして、いたるところでマンモス展応援大使になり、宣伝の動画や地図を作成するワークショップを実施した。

子どもたちに企画展の魅力を伝える側の視点を与えるものとして、子ども参画事業のプレイベントとして開催した。

子どもたちが作成した成果物は、企画展の期間中サイエンスナビに展示した。

「いたるところでマンモス展」応援大使になって、オリジナル探検地図をつくろう

日時:2019年12月21日(土)10:00~12:00、12月22日(日)10:00~12:00

「いたるところでマンモス展」応援大使になって、宣伝CMをつくろう

日時:2019年12月21日(土)13:30~16:30、12月22日(日)13:30~16:45

3) プロジェクトM

「プロジェクトM」は、特別展「マンモス展」をきっかけとして、“科学のおもしろさ”を伝える手法を学ぶ中期プロジェクトである。9月から1月までの半年間で、サイエンスナビのミッションボードの展示物を企画・制作した。参加者は、企画に応募した高校生9名で、月に2回ほどのペースで話し合いを行った。

今回は、展示テーマから何をどのように構成するかまで、すべて高校生自身で検討・企画した。最終的に“遺伝子”をテーマとし、遺伝子に関わる身近な疑問をトピックスとして、遺伝子のふしぎに迫る内容となった。

No.	日付	内容
1	9月16日	・メンバー自己紹介 ・マンモス展について ・文献の探し方、読み方講座
2	9月29日	・マンモス展@東京について ・各自調べてきたことの発表 ・今後の展開について
3	10月13日	・何を伝える展示にするか考える ・プロデューサーに聞いてみたいこと
4	11月17日	・伝えるために必要なことを考える ・どんな伝える手法があるだろう？
5	11月24日	【特別講義】 フジテレビジョン神田プロデューサー ・プロデューサーというお仕事とは ・マンモス展のねらい ・展示のストーリー
6	12月8日	・展示制作に向けてスケジュール ・テーマ決め ・トピックス案を挙げる
7	12月24日	・伝えたいメッセージの再考 ・トピックス担当決め
8	1月11日	・トピックスの内容決め ・レイアウト検討
9	1月18日	・模造紙に下書き作成
10	1月31日	・サイエンスコミュニケーターからコメント ・修正作業
11	2月1日	・制作作業

② 運営サポーター（ボランティア）

登録者総数 74人（2020年3月時点）

協働活動内容	活動月	活動回数	参加サポーター(人)
基本展示室ツアー練習会	4月	1	5
おはなし会	通年	9	50
運営サポーターミーティング	通年	10	138
工作クラブサポート	通年	15	22
フィールドワークサポート	5・8・10・11月	4	8
おはなし会練習会	5・6月	2	19
サポーター募集説明会	5月	2	9
オープンラボ強化日	通年	10	76
基本展示室ツアー	通年	15	30
1日学習準備	7・8・10月	5	18
サポーター活動相談会	7・8月	4	12
マンモス展サポーター会議	7・9月	2	21
SC 開発会議意見交換	9月	1	13
プロジェクトMサポート	10・11・12・1月	6	11
全員参加ミーティング	10・11月	4	57
サイエンスキャスト説明会	11月	2	25
マンモスクイズ打ち合わせ	11月	1	14
オープンラボマニュアルミーティング	11月	1	14
クイズラリー準備会	12月	1	4
クイズラリーリハーサル	12月	1	10
サイエンスキャスト研修会	12・1・2・3月	10	77
クイズラリー実施	1月	1	25
サポータージャックミーティング	1・2月	5	35
計		112	693

育成活動内容	活動月	活動回数	参加サポーター(人)
3期サポーター研修	6・7月	4	19
フィールドワーク研修	6・11月	2	12
サポーター和田さんによる基本展示室研修	6月	1	7
福岡市美術館見学会	12月	1	11
計		8	49



③ 連携事業

1) 他団体との連携

内容	実施日	参加者(人)	主催・共催等(敬称略)
421 の日	4月21日	-	JR九州ビルマネジメント
福岡ミュージアムウィーク 2019	5月20日、23日	758	福岡ミュージアム連絡会議事務局
六本松ご近所コラボ	5月4日	150	NHK福岡放送局、福岡市美術館
NHK 防災イベントワークショップ	5月19日	250	NHK 福岡放送局
テンジン大学コラボイベント	6月22日	148	福岡テンジン大学、福岡未来創造プラットフォーム
六本松青陵七夕まつり	7月6日～7日	1,317	JR九州ビルマネジメント
JR 博多シティ学校「ペガサス座のうちわづくり」	7月25日	25	JR 博多シティ
おいでよ！ 絵本ミュージアム連携企画 TNC アナウンサーによる絵本おはなし会	7月30日	90	アジア美術館、TNC テレビ西日本
お金の学校	8月3日	280	西日本シティ銀行
カイコの繭から糸弾き	8月8日	17	池永照美(九州大学農学部 大学院生物環境資源学府) 他
アリの生き方に学ぶ	8月18日	32	村上貴弘(九州大学持続可能な社会のための決断科学センター)
福岡市経済観光文化局クリエイターズワークショップ	8月21日	46	福岡市経済観光文化局コンテンツ振興課
九電再エネ 5 電源ジオラマ展示	8月21～23日	620	九電未来エナジー
九州市民大学サマースクール	8月29日	253	九州市民大学
六本松星祭り「科学館で夢火花を描こう！」	8月30日～9月1日	200	六本松商店街連合会
We Love 天神協議会 おとなの冒険福岡市科学館	9月5日	21	We Love 天神協議会
朝倉復興市 パネル展示	9月14日～15日	700	国土交通省 九州地方整備局
N スポ！ 2019-FUKUOKA-	10月13日	200	NHK 福岡放送局
世界一行きたい科学広場 in 福岡 2019	10月19日～20日	3,362	世界一行きたい科学広場 in ふくおか実行委員会、福岡大学、NPO 法人ガリレオ工房
九州電力おけいこタウン クリスマス祭	12月8日	720	九州電力
計		9,189	

2) 科学館間の連携

・日本プラネタリアム協議会 全国プラネタリアム大会 2019・福岡 開催

【日程】 2019年6月3日～5日

【内容】 大会参加者数:246, 口頭発表:14, ポスター発表:7, ベンダー発表:17, ブース出展:17

記念講演 JAXA 宇宙科学研究所 川口淳一郎教授「HAYABUSA、HAYABUSA2、そして、その先にあるもの」

・全国科学館連携協議会 九州ブロック会議 開催

【日程】2019年11月1日～2日

【内容】参加者数:のべ37名(九州ブロック加盟館13館および事務局)

1日目 会議, 2日目 サイエンスショー研修(宮崎科学技術館, 当館による演示)

(7) 調査研究事業

九州大学との共同研究

- 1) サイエンス&クリエイティブによる新たな科学館活動の基礎理論と具体的プログラムの開発研究
- 2) 科学やものづくりの知見、ICT活用能力、想像力を結集し「地球の未来に貢献する」次代の偉才、(仮称)スーパーサイエンスジュニアを育成するための教育プログラム立案に関する研究

(8) 施設貸出事業

諸室貸出利用件数

(単位:件)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスホール	14	14	16	9	13	11	6	14	13	9	13	2	134
ドームシアター	2	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	0	7
企画展示室	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
計	16	14	16	9	13	11	8	16	14	10	13	2	142

参考:サイエンスホール貸出稼働日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスホール	14	13	15	9	10	11	5	13	12	10	12	2	126

※サイエンスホールについては、1日に複数件貸し出しを行う場合があるため、利用件数と稼働日数が異なる場合がある。

(9) スーパーサイエンスジュニア事業

参加者数

前年度より継続 10名

新規募集 18名(募集定員20名、辞退者2名)

実施内容

- ・ローバー型の自律型ロボット制御プログラミングの習得
- ・ミッション達成のためのプログラミング応用技術の習得
- ・ロボットにセンサを取り付けて、環境対応型プログラミングの習得
- ・複数のセンサを取り付けたロボットへのプログラミングの習得
- ・障壁の回避や目的地への移動などのミッション達成のための応用技術の習得
- ・上記技術の検定試験「スペースロボットコンテスト イン福岡」は、新型コロナウイルスの影響により開催延期

(10) その他の実績

①活動の実績

1) おうち de 科学館

科学館に直接足を運ぶことのできない臨時休館中でも、家の中で科学に親しめるコンテンツを HP や SNS で発信。

タイトル	アップロード日	媒体
CREATIVE AWARD アイデア募集	3月6日・7日	HP、Facebook、Twitter
ものづくりプログラム「バランスとんぼをつくろう」	3月8日・9日	HP、Facebook、Twitter、Instagram
「最新科学便り」(はやぶさ2, チバニアン)	3月12日	HP、Twitter
東亜天文学会発行『天界』掲載原稿	3月12日・13日	Facebook、Twitter
360度全天周映像(星座)	3月13日	Facebook、Twitter、Instagram
360度全天周映像(桜)	3月16日・17日	Facebook、Twitter、Instagram
「館長ツアー～からだのふしぎ編～」	3月18日・19日	YouTube、Facebook、Twitter

2)『夏休みの自由研究』の準備を科学館で始めよう

【日程】2019年7月23日・24日

【場所】実験室3

【内容】自由研究の進め方、実験体験、研究のまとめ方、テーマ模索・決定、個別相談。

参加者数 計31名 ※保護者を除く

・作品交流会

【日程】2019年8月23日

【場所】実験室3

【内容】作品を持ち寄り、他者の作品を参考。

参加者数 児童6名、保護者4名

②職員の実績

1) 外部発表(執筆等)

- ・ 福岡市科学館:「行ってみよう科学探検 福岡市科学館」, 科学教育研究協議会編 理科教室, vol.62, no.5, pp.86-87, 本の泉社, 2019年5月.
- ・ 針谷 亜希子:「Hot & Cool サイエンスカフェへようこそ! 福岡市科学館における対話型イベントの取り組み」, 生物の科学 遺伝, 第73巻,第5号配本, p.521, 2019年9月.
- ・ 丹野 佳代子:「令和の空をみる」, 西日本新聞朝刊「随筆喫茶」, 8面, 2019年10月13日.
- ・ 内野 亜沙美:「科学博物館におけるサイエンスコミュニケーター養成講座—展開の成果と課題—」, 日本ミュージアム・マネジメント学会 会報通巻第85号, vol.24-1, 別冊 web版, 2019年10月.

- ・ 小林 翔:「理科とわたしの仕事第 13 回 体験を通して育む科学する心」, 理科の教育, 通巻 808 号, p.60, 東洋館出版社, 2019 年 11 月.
- ・ 丹野 佳代子:「天文台&科学館めぐり(123)福岡市科学館 ドームシアター(プラネタリウム)」, 天界 3 月号, 第 101 巻, p.88, 東亜天文学会, 2020 年 3 月.

2) 外部発表(口頭発表)

- ・ 高安 礼士, 内野 亜沙美:科学博物館におけるサイエンスコミュニケーター養成講座—展開の成果と課題—, 日本ミュージアム・マネジメント学会 第 24 回大会, 長崎歴史文化博物館(長崎県), 2019 年 6 月 2 日.
- ・ 秋本 頼子:参加型プログラムを用いた福岡市科学館における新たな取り組み, 一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会 2019 年度第 2 回定例会・研究発表会, 福岡市科学館(福岡県), 2019 年 10 月 27 日.
- ・ 内野 亜沙美:参加型プログラムを用いた福岡市科学館における新たな取り組み, 一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会 2019 年度第 2 回定例会・研究発表会, 福岡市科学館(福岡県), 2019 年 10 月 27 日.
- ・ 針谷 亜希子:科学館の展示と日常を繋ぎ、参加者の活動で 展示を深化させる取り組み ~フィールドワーク「水を知る旅に出よう」を例に~, 全国科学博物館協議会 第 27 回研究発表大会(令和元年度), オーテピア・高知みらい科学館(高知県), 2020 年 2 月 14 日.
- ・ 龍興 彩香:科学館における有償ボランティアの導入と課題—福岡市科学館サイエンスキャストを例に—, 全国科学博物館協議会 第 27 回研究発表大会, オーテピア・高知みらい科学館(高知県), 2020 年 2 月 14 日.

3) 外部発表(ポスター発表)

- ・ Yoriko AKIMOTO and Reiji TAKAYASU:A New Educational Concept of the Science Museum as the Participatory Museum, 第 25 回 ICOM(国際博物館会議)京都大会 CECA, 稲盛記念会館(京都府), 2019 年 9 月 2 日
- ・ 板垣 早織:海の世界啓発活動団体と連携した科学館ならではの取り組み, 全国科学博物館協議会 第 27 回研究発表大会, オーテピア・高知みらい科学館(高知県), 2020 年 2 月 14 日.
- ・ 藤瀬 雅子, 中村 佳史(HUMI コンサルティング):来館者とともに街に出て館内の展示を更新「サイエンススポット」を蓄積する一連の取組み, 全国科学博物館協議会 第 27 回研究発表大会, オーテピア・高知みらい科学館(高知県), 2020 年 2 月 14 日.

4) 協力

- ・ 丹野 佳代子:2019 年度 福岡女学院大学 人間関係学部 子ども発達学科 石井ゼミ 卒表研究論文集, 2020 年 3 月.

5) 海外研修

- ・ 伊藤久徳: アメリカ合衆国カリフォルニア州 カリフォルニア・サイエンス・センター, テック・インタラクティブ, エクスプロラトリウム, コンピューター歴史博物館, 2020年2月17日~22日 (2019年度全国科学館連携協議会 海外科学館視察研修)

福岡市科学館 年報 2019 年度(平成 31 年度・令和元年度)版
2020 年 7 月 発行

編集・発行

福岡市科学館

〒810-0044 福岡県福岡市中央区六本松 4 丁目 2 番 1 号

TEL 092-731-2525

FAX 092-731-2530